

指定管理者制度導入施設における
モニタリング結果報告書
(令和4(2022)年度実績)

令和5(2023)年7月
柏崎市財務部財政管理課

目 次

施設No.	施設名称	ページ
1	田島活性化施設	1
2~27	コミュニティセンター（26施設）	5
28	文化会館アルフォーレ	9
29	家族旅行村(じょんのび村)	16
30	ふるさと体験村(門出)	20
31	柏崎さけのふるさと公園	24
32	コレクション展示館第1展示館（痴娯の家）	28
33	コレクション展示館第2展示館（黒船館）	32
34	コレクション展示館第3展示館（同一庵藍民芸館）	36
35	ふるさと体験村(荻ノ島)	40
36	柏崎海洋センター(シーユース雷音)	44
37	大崎温泉雪割草の湯	48
38	西山自然体験交流施設（ゆうぎ）	52
39~53	体育施設（15施設）	56
54	ワークプラザ柏崎	60
55	産業文化会館	64
56	新潟県立こども自然王国	70
57	高齢者生活支援施設「結の里」	75
58	高齢者用冬期共同住宅「ひだまり」	80
59	元気館障害者デイサービスセンター	84
60	総合福祉センター	89
61	柏崎・夢の森公園	93
62	モーリエ駐車場	99
63	かしわざき市民活動センター	103
64	西山ふるさと公苑	108

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月19日

1 基本情報

施設名	田島活性化施設	No.	1
指定管理者	田島町内会		
指定期間	平成27年4月1日	～	令和7年3月31日
施設所管課	産業振興 部	農林水産 課	8 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
小会議室	2,612	2,797	1,131	1,029	938	1,701	
大会議室	1,462	1,491	461	592	909	983	
調理室	315	312	143	169	285	245	
合計	4,389	4,600	1,735	1,790	2,132	2,929	
計画・目標値合計	(3,500)	(4,000)	(3,000)	(2,000)	(2,000)		

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
法定点検(2回/年)	2回	2回	2回	2回	2回	浄化槽、消防設備点検
清掃業務	週2.3回	週2.3回	週2.3回	週2.3回	週2.3回	日常清掃
自主事業						

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	—	—
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	4	4
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	4	4
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

100	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載															
	【任意項目】	地域全体で利用できるように町内会業務だけでなく各種任意団体に対し、利用を促しているか										3	3				
100	自主事業	自主事業がある場合は必須項目															
	【該当の場合、必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか													—	—	
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか													—	—	
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか													—	—	
【総括Ⅰ】	指定管理者の自己評価	【必須項目】	平均点数	3.13	評価	A	5	0	4	2	3	13	2	0	1	0	施設の清掃等は担当を決め、定期的(計画的)に実施している。 また、日常の維持管理を適切に遂行しており、利用者の受付を含めた施設運営も特段問題ないと考えている。 施設利用の後、片付けと清掃を適切に行ってもらえるよう、利用団体に対し張り紙や口頭で指導を行っている。 昨年度から少しずつ、コロナウイルス感染症による影響が緩和され、大人数の活動が行われた。地域のサークル等の定期的な利用もあることから、令和5年度以降も地域の拠点として十分に活用されると見込まれる。
	所管課の評価	【必須項目】	平均点数	3.13	評価	A	5	0	4	2	3	13	2	0	1	0	

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収入	指定管理料	0	0	0	0	0	
	追加指定管理料	0	0	0	0	0	
	利用料金	0	0	0	0	0	
							0
	その他	545	552	668	649	613	3,027
	小計	545	552	668	649	613	3,027
(予算)						(0)	
支出	人件費	0	0	0	0	0	非:3人
	光熱水費	295	285	239	257	278	電気料金の高騰
	修繕費	0	0	96	0	0	96
	委託料	243	258	260	256	235	1,252
							0
	その他	7	9	73	136	100	325
	小計	545	552	668	649	613	3,027
(予算)						(0)	
収支	差引	0	0	0	0	0	0
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
黒字比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入					0	
	自主事業支出					0	
	差引	0	0	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価				
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による																
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											—	—			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	4	2	0	1	0	収支については、概ね事業計画書のとおり執行しており、特に問題ないと考えている。引き続き、業務に支障のない範囲で省エネ等による経費削減に努めていきたい。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	4	2	0	1	0	経費削減及び省エネのために、蛍光灯を間引たりなど unnecessary 照明の消灯、冷暖房の設定温度の徹底を実施していることは評価できる。今後も引き続き、無理のない範囲で経費削減できるように対応をお願いしたい。	

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											—	—
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											—	—
	外部委託【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											—	—
		5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											—	—
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											—	—
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											—	—
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											—	—
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											—	—
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											—	—
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											—	—
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											—	—

その他 【任意項目】	トラブルや要望があった場合、随時報告しているか													3	3
指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	7	2	0	1	0	
	事故・苦情等は特になかった。利用者からいただいた要望は随時、市へ伝えている。今後も継続して施設の維持管理・安全管理に努めていきたい。														
【総括Ⅲ】 所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	7	2	0	1	0	
	必要な報告書は早期に提出され、利用者の内訳もあることから、利用状況がわかりやすい。また、利用者の要望を集約して市に報告しているため、市は現状把握しやすい。そのため、修繕の実施等について、優先順位をつけながら実施できている。要望等は、利用者の高齢化に配慮したものが挙げられ、施設の利便性を考慮したものであり、利用促進につなげようとする姿勢は評価できる。														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.13	3.00	3.00	9.13
評価	A	B	B	備考
内 訳				
項目数	15	4	7	
5点	0	0	0	
4点	2	0	0	
3点	13	4	7	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	施設内は常に清掃が行き届いており、利用者の声にも耳を傾け、改善検討をしている。このことから、管理者として、日頃から利用者のことを考えた上で、利用環境を整えている点は評価できる。また大人数での利用がある際は、適切な感染症対策が講じられている点についても評価できる。			
改善が望まれる点 【必須項目】	新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が徐々に緩和されていく中で、今後も適切な施設運営を行う必要がある。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月31日

1 基本情報

施設名	コミュニティセンター	No.	2-27
指定管理者	中鯖石地区コミュニティ振興協議会ほか25地区協議会		
指定期間	平成27年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	市民生活 部		市民活動支援 課
			8 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目		
利用者数1	399,590	402,482	210,100	220,653	234,227	293,410	新型コロナウイルス感染症から一部改善
合計	399,590	402,482	210,100	220,653	234,227	293,410	
計画・目標値合計							

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
法定点検(2回/年)						各種点検は、直営にて実施
定期点検(10回/年)						各種点検は、直営にて実施
清掃業務						別紙財政状況報告書のとおり
自主事業						別紙財政状況報告書のとおり

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価		
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による				
サービス水準に関する評価	基本事項	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3	
	【必須項目】	2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	4	
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3	
		利用者対応	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
	【必須項目】	5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	—	—	
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3	
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3	
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	4	
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3	
	指定管理業務	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3	
		【必須項目】	11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
			12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
			13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
			14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
			15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

Ⅳ	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
	【任意項目】	例: ホームページやSNS等を使って誘客や施設の周知を図る取組みを行っているか														
		例: 環境への配慮がなされているか(省エネルギー、CO2削減等)														
	自主事業	自主事業がある場合は必須項目														
【該当の場合、必須項目】		施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか														
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか														
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか														
【総括Ⅰ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	14	2	0	1	0	施設の利用者数は全体で、238,575人令和3(2021)年度の220,653人と比較し、17,922人の増となった。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画した事業をやむを得ず、中止、縮小を余儀なくされ、令和3(2021)年度同様、十分な活動ができない状況となった。
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.14	評価	A	5	0	4	2	3	12	2	0	1	0	

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の	前年度からの増減理由等	
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計		
収入	指定管理料						0		
	追加指定管理料						0		
	利用料金						0		
							0		
	その他						0		
	小計	0					0	0	
	(予算)						(0)		
		別紙「財政状況調査」のとおり							
支出	人件費						0	正:○人、非:○人【必須】	
	光熱水費						0		
	修繕費						0		
	委託料						0		
							0		
	その他						0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	
	(予算)						(0)		
収支	差引	0	0	0	0	0	0		
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
	黒字比率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の	前年度からの増減理由等
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
収支	自主事業収入						0	
	自主事業支出						0	
	差引	0	0	0	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価			
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											—	—		
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											—	—		
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—		
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3		
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3		
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3		
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	3	2	0	3	0	世帯数の減少により、会費収入が減少傾向にある。中心部においても、同様の傾向にあり、会費の増額も検討されているが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止、縮小するなか、地域住民の理解が得られる状況にない。厳しい財政状況ではあるが、年間の収支を見定めた予算をたて、経費削減を図りながら健全な財政処理に努めている。
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	3	2	0	1	0	世帯数の減少により、それぞれの協議会の運営は厳しい状況にあると認識しているが、地域の規模や実情にあった事業運営を行っていると考えている。

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3

【必須項目】	17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか													3	3		
	その他																
【任意項目】																	
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	基本協定書、管理運営事業補助金交付要綱で定められた内容を遵守するとともに、施設利用や事業実施において新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施した。	
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	基本協定書、管理運営事業補助金交付要綱で定められた内容を遵守されている。 また、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用制限や事業、施設利用における新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施していると考えます。	

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.14	3.00	3.00	9.14
評価	A	B	B	備考
内 訳				
項目数	14	3	17	
5点	0	0	0	
4点	2	0	0	
3点	12	3	17	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	令和3(2021)年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設利用制限等もあったなか、施設利用者に対し必要な感染症対策の周知の徹底、取組みの工夫など行われてきた。			
改善が望まれる点 【必須項目】	引き続き、利用者が安心して利用できるよう、必要な感染症対策を実施する。 世帯数の減少が続くなか、年間の収支を見定めた予算をたて、経費削減を図りながら健全な財政処理をお願いしたい。また、他地区のコミュニティ協議会と合同で事業を行いながら、人員不足をカバーするなど、工夫を凝らしながら事業展開を図っていただきたい。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月18日

1 基本情報

施設名	文化会館アルフォーレ	No.	28
指定管理者	かしわざき振興財団・新潟照明技研共同事業体		
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日
施設所管課	教育委員会	文化・生涯学習課	1 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
大ホール	35,633					35,633	感染対策の規制緩和
マルチホール	12,836					12,836	感染対策の規制緩和
会議室	6,835					6,835	感染対策の規制緩和
大・小練習室ほか	5,116					5,116	感染対策の規制緩和
共用・屋外	50,851					50,851	感染対策の規制緩和
合計	111,271	0	0	0	0	111,271	
計画・目標値合計	(161,000)						

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
建築物保守管理業務	① 1回 ② 1回 ③ 無					①建築設備定期報告:年1回 ②防火設備定期検査:年1回(防火シャッター) ③特殊建築物定期調査(設備):3年毎(次回はR6)
建築設備保守管理業務	(1) 1名 (2) ①12回 ② 1回 ③ 1回 ④ 2回 (3) ① 1回 ② 1回 ③ 1回 (4) ① 1回 ② 1回 ③ 1回 ④ 1回 ⑤ 1回 (5) ① 1回 ② 6回 ③ 実施 ④ 6回 (6) 点検1回 (7) ① 1回 ② 1回 (8) 2回					(1)電気主任技術者 東北電気保安協会技術者 (2)自家用電気工作物 ①日常:年12回 ②定期:年1回 ③精密点検:3年に1回 ④太陽光設備:年2回 (3)自家発電設備 ①機器点検:年1回 ②総合点検:年1回 ③負荷点検及び内部監察等点検(6年に1回) ④保全点検(③当該年を除く:年1回) (4)冷温水発生機 ①冷暖イン点検:年1回 ②冷房オン点検:年1回 ③暖房イン点検:年1回 ④暖房オン点検:年1回 ⑤ブラシ洗浄:年1回 (5)冷却塔 ①清掃:年1回 ②レジオネラ菌検査:年6回(冷房使用期間) ③薬注装置薬剤交換:適宜 ④冷却塔点検(1か月以内毎に1回) (6)空冷ヒートポンプパッケージ空調機 ・保守点検:年1回、フィルター交換:適宜 (7)全熱交換器 ①保守点検:年1回 ②フィルター及びエレメント清掃:年1回 ③フィルター交換:適宜 (8)自動制御装置・保守点検:年2回

	<p>(9) 2回 (10) 2回 (11) 1回 (12) 1回 (13) 機器点検 2回 総合点検 1回 (14) 無 (15) 12回 (16) 1回 (17) 保守点検 4回 遠隔点検 12回 (18) 3回 (19) 6回 (20) 1回 (21) 1回</p>				<p>(9)空調機(AHU) ・保守点検:年2回、フィルター交換:適宜 (10)ファンコイルユニット ・保守点検:年2回、フィルター交換:適宜 (11)空調ポンプ類 ・保守点検:年1回 (12)大型ファン・保守点検:年1回 ベルト交換:適宜 (13)消防用設備 ・消火器、誘導灯、スプリンクラー、自動 火災報知機、非常用放送設備、排煙設備 外観、機能、作動試験:年2回 ・スプリンクラー、自動火災報知設備、非 常 用放送設備、排煙設備 総合点検:年1 回 (14)防火対象物定期報告 ・特例認定により3年に1回(次回はR5年度) (15)雨水処理設備 ・保守点検:年12回(ろ材・薬剤交換:適宜) (16)給排水ポンプ類 ・保守点検:年1回 (17)エレベーター保守点検 ・保守点検:年4回、遠隔点検:年12回 (18)自動ドア設備 ・保守点検:年3回 (19)電話交換機 ・保守点検:年6回 (20)構内情報通信機(無線LAN) ・保守点検:1回、修正プログラム適用:適宜 (21)避雷設備 ・保守点検:年1回</p>
環境衛生管理業務	<p>(1) 1名 (2) 1項目52回 16項目2回 12項目1回 (3) 52回 (4) 4項目52回 2項目 6回 (5) 空気 6回 窒素 2回 (6) 空気 2回 照明点検2回 (7) 実施 (8) 点検 各1回 清掃 1回 点検 各1回 (9) 1回 (10) 1回</p>				<p>(1)建築物環境衛生管理技術者 指定管理者技術者 (2)上水水質検査 ・1項目水質検査(遊離残留塩素):週1回 ・16項目水質検査:年2回 ・消毒副生成物12項目検査:年1回 (3)残留塩素測定 ・残留塩素測定:週1回 (4)雑用水水質検査 ・4項目水質検査:週1回 ・2項目水質検査:年6回 (5)空気環境測定 ・空気環境測定:年6回 ・ボイラーに係る窒素酸化物測定:年2回 ・ボイラーに係るばいじん測定:5年に1回 (6)作業環境測定 ・空気環境測定:年6回 ・照明設備点検:年2回 (7)機械換気設備 ・定期保守点検:年2回 ※必要に応じ実施 (8)空気調和設備 ・加湿装置点検:使用開始時及び使用 期間中1か月以内毎に1回 ・加湿装置清掃:年1回 ・排水受け点検:使用開始時及び使用 期間中1か月以内毎に1回 (9)上水貯水槽清掃 ・受水槽清掃消毒、簡易専用水道検査:年1回 (10)雨水貯留槽/清掃消毒:年1回</p>

	(11) 1回 (12) 1回 (13) 1回 (14) 無 (15) 点検12回 駆除 2回					(11)ポンプ中継槽/清掃消毒:年1回 (12)雑用水受水槽/清掃消毒:年1回 (13)冷却塔用受水槽/清掃消毒:年1回 (14)雑排水清掃:年2回(設備なし) (15)害虫防除(調査点検 月1回/駆除作業 年2回)
舞台機構、舞台音響・照明・映像設備保守管理業務	(1) 6回 (2) 2回 (ピンスポ1回) (3) 2回					(1)舞台機構設備保守点検/機構設備:年6回 (2)舞台照明設備保守点検/年2回 (フォローピンスポットライト:年1回) (3)音響・映像設備等保守点検/年2回
構造関係保守点検業務	定期点検1回					(1)免震装置/定期点検1(目視) /定期点検:年1回 (2)免震装置/定期点検2(計測) (3)免震装置/応急点検 (4)免震装置/詳細点検
清掃及び廃棄物処理業務	毎日					日常清掃及び定期清掃
ピアノ保守管理業務	点検及び調律実施					総合点検:年1回、定期調律年5回以上
植栽管理業務	適宜実施					薬剤散布、施肥及び冬囲い
機械警備及び保安業務	毎日					(1)機械警備:毎日 (2)保安業務:毎日(休館日を除く)
来場者誘導業務	8日					混雑が想定される主催事業等実施時の誘導員配置
駐車場施錠業務	毎日					開館・閉館時間に合わせ開錠・施錠
除雪業務	(1) 7日 (2) 0日					(1)除雪(2)排雪
貸館事業 (大ホール)	132件					(1)大ホール:132件
貸館事業 (マルチホール)	234件					(1)マルチホール:234件
貸館事業 (会議室)	585件					(1)会議室(大・中・小):585件
貸館事業 (大・小練習室ほか)	613件					(1)大練習室:69件 (2)小練習室:256件 (3)ワークスペース:34件 (4)ミーティングルーム:254件
振興事業(鑑賞事業)	10事業					(ア)ファミリークラシックwith金子三勇士(8/7) (イ)キエフ・クラシック・バレエ(9/19) (ウ)小中学生音楽鑑賞会「東京混声合唱団」(10/20) (エ)綾子舞アルフォーレ公演(11/13) (オ)池辺晋一郎 音楽の不思議(11/19) (カ)古典フェスティバル 特選寄席(11/26) (キ)辻井伸行 日本ツアー 2022/23(12/8) (ク)10周年記念「未来へつなぐコンサート」(1/22) (ケ)アルフォーレ子どもステージフェスティバル(2/5) (コ)Fresh Artist Concert(3/25)
振興事業(普及事業)	2事業					(ア)ワークショップ~ようこそ、狂言の世界へ~(10/15) (イ)子ども育成事業 楽器演奏/合唱体験会(12/8)
振興事業(参加事業)	4事業					(ア)ピアノ演奏体験 (4月、5月、6月、7月、8月、9月:計15日間) (イ)ロビーコンサート(10/9, 12/17, 3/18) (ウ)バックステージツアー(12/28) (エ)ピアノリレーコンサート(12/11)
振興事業 (市民文化活動支援事業)	2事業					アルフォーレ柏崎市民文化祭 ・市民のための柏崎文化祭2023 (2/18,2/19) ・柴田梨花&石口あみ
振興事業(賑わい事業)	3事業					(ア)野外おんがく堂@劇場広場(5/22) (イ)ギャラリー回廊展示 ・天体写真展(8/28-9/25) ・壁アート作品展(10/2-10/29)
振興事業(その他)	1事業					アルフォーレ10周年記念サイン色紙展(7/6-8/8)

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価		
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による														
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか											3	3	
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか											3	3	
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか											3	3	
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか											3	3	
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか											4	3	
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)											4	3	
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)											4	3	
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか											4	3	
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※											3	3	
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか											4	3	
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか											4	3	
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか											3	2	
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか											4	3	
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか											3	3	
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか											3	3	
その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
	ホームページやSNS等を使って誘客や施設の周知を図る取組を行っているか											3	3		
	環境への配慮がなされているか(省エネルギー、CO2削減等)											3	3		
自主事業 【該当の場合、必須項目】	自主事業がある場合は必須項目														
	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか											—	—		
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか											—	—		
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか											—	—		
【総括I】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.41	評価	A	5	0	4	7	3	10	2	0	1	0
		施設の設置目的及び管理運営の基本方針に基づき、公共性・公平性を保ちつつ、常に接遇マナー向上に努め、直接お客様と対応する職員の服装に気を配りながら、アルフォーレのイメージ維持に務めました。 利用料金の徴収については従前の前納制に戻し、恒例利用団体等を中心に、コロナ感染対策緩和の周知に力を入れました。また、利用料金の減免制度についても学校関係を中心に柔軟な対応を行いました。 館内表示やホームページには、主催事業等の開催情報を中心に周知を行い、利用アンケート等で市民の方から寄せられた要望等には即時対応を心掛けました。 令和4年度の利用者数は対前年比で30%増加となり、新型コロナウイルスに対する過度な懸念もある程度払しょくされて来たようです。 指定管理業務において、振興事業では事業計画書で掲げたとおり、4年ぶりの子ども育成事業(子どもステージフェスティバル)を含め、全事業を開催しました。また、継続して小学校の施設見学等については積極的に受け入れました。 施設の維持管理は法令に従い、定期点検等を行っています。館内清掃については除菌作業に時間を要することから、前後の利用について部屋の広さや貸出備品の状況に応じてインターバルを調整しながら適切に実施しました。また、1月下旬の寒波により、一時的に全館の空調設備運転ができない非常事態となりましたが、代替として日程の変更や産業文化会館及び市教委と連携して別会場の提案を行い、迅速な対応策を講じた結果、難局を乗り切ることができました。 施設保全のため、優先度の高い修繕から順に外部発注を行うと共に、植栽の成長に起因する歩道のインターロッキングブロック舗装の整地及び敷き直し、劇場広場の側溝タイルや縁石ブロックの修復作業など、DIYによる修繕も実施しました。備品管理については定期的に台帳との照合確認を行い、適切な管理に努めています。 TwitterやInstagramを活用して情報発信を行い、利用がない時の共用スペースや事務室の節電を実施しました。													
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	2.94	評価	C	5	0	4	0	3	16	2	1	1	0
		新型コロナウイルス感染症の鎮静化に伴う制限緩和を受けて利用者が前年比約32%増となっており、コロナ禍においてもサービス維持に努めた結果が見受けられる。また、事業計画に上乗せた企画を立案、実行することで、市民サービスの向上に努めた点が認められる。 改善点として、主催事業に偏りが見られることから、古典やクラシック以外のイベントを開催することで、普段劇場に足が向かない年齢層に訴える企画立案を期待したい。併せて寒波に起因する設備トラブルの発生については、事前の対策に不十分な点も散見されることから、今後の反省点として欲しい。													

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	138,544				138,544		
	追加指定管理料	9,962				9,962	光熱水費高騰に伴う追加支援	
	利用料金	18,234				18,234	利用状況改善、施設料金変更等	
	事業収益(入場料)	2,957				2,957	助成金事業実施による入場料減収	
	その他	9,637				9,637	電源立地給付金、文化庁助成金等	
	小計	179,334	0	0	0	0	179,334	
	(予算)	(171,479)					(171,479)	
支出	人件費	68,449				68,449	正職員10人、臨時職員1人	
	光熱水費	34,724				34,724	市場価格の高騰	
	修繕費	1,970				1,970	経年劣化等による修繕増加	
	委託料	40,969				40,969		
						0		
	その他	26,595				26,595	助成金事業による直接経費減額	
	小計	172,707	0	0	0	0	172,707	
(予算)	(171,479)					(171,479)		
収支	差引	6,627	0	0	0	0	6,627	
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
黒字比率	3.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	3.7%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入					0	
	自主事業支出					0	
	差引	0	0	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか	3	3
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	3	3
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)	—	—
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか	3	3
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか	4	4
		6: 収支の釣り合いが取れているか※	4	4

【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	2	3	3	2	0	1	0
	令和4年度の貸館における利用状況としては、業務上の利用による料金割増が全室に適用されたことを受け、大小練習室の利用者数が若干減少しましたが、貸館全体での利用者数では、前年よりも増加しています。特に新型コロナウイルス感染対策の緩和により、大ホールやマルチホールの利用者数が増加しました。収益面においては貸館件数の増加により、利用料金収入が予算を上回る結果になったことに加え、アルフォーレ開館10周年記念事業を始めとした主催事業等を予定通り開催できたことによって、概ね予算通りの結果が得られました。費用面においては人件費を抑え、職員の手による小修繕を積極的に実施しました。また、可能な限り空調運転をするなど、省エネ対策に努めました。収支全体としては、光熱水費高騰による影響額について、柏崎市から指定管理料の追加支援が受けられたことから、最終的には黒字決算を達成することができました。														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	2	3	3	2	0	1	0
高騰する光熱費の補填を受けつつも、省エネ対策や修繕費用の節減に努め、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和から利用収入も増加し経営状態は良好と認められる。															

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの			
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか	3	3
	人員体制 【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか	3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか	3	3
		外部委託	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか	3
	報告等 【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか	3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか	3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか	3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時 【必須項目】	9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか	4	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	4	4
		11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか	3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか	4	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか	4	3
	個人情報保護 【必須項目】	14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか	3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか	4	3
		16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか	3	3
	その他 【任意項目】	17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか	3	3
関係団体等との継続的な連携強化の具体的な取組みを実施したか		3	3	
	施設・設備の状況を十分に把握し、適正な管理運営を行っているか	3	3	

【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.26	評価	A	5	0	4	5	3	14	2	0	1	0
	<p>関係法令等を遵守し、利用者から安心して施設をご利用いただけるよう適正な人員体制を確保し、年間を通じて文化・生涯学習課、及び関連性のある市民プラザや産文との連絡調整、並びに相互の情報共有しながら臨機応変に対応できるよう努めました。また、今年も介護高齢課からの協力要請を受け、新型コロナワクチン接種の予約サポート施設として行政サービスに協力し、予約業務を実施しました。</p> <p>今年度は第3期指定管理の初年度となることから、可能な限り、見積合わせによって外部委託先を選定しました。また、点検記録等は適切に保管し、必要な連絡事項については、その都度、文化・生涯学習課へ報告を行っています。</p> <p>災害等緊急時における実施体制では、年1回以上各対応マニュアルの振り返りや更新を行っており、令和4年度は総合訓練に加えて、訓練用の消火器を使用して放射訓練を行い、万が一の事態に備えました。また、空調機の凍結による予期せぬ漏水トラブルが発生した際には、財団本部や市と連携して利用者対応を行いました。</p> <p>個人情報保護に関しては施設利用申込書、各事業関連の関係者、参加者のプライバシー保護について細心の注意を払い、慎重な対応を行いました。</p> <p>その他、関係団体等との取り組みとして、子ども育成事業やアルフォーレ市民文化祭において、リハーサル・本番共に技術サポートを行いました。</p>														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.05	評価	A	5	0	4	1	3	18	2	0	1	0
<p>人員体制及び法令順守については、要求水準書のとおり実施されており、利用者からの評価に関してもアンケート等から適正な運営がなされているものと判断できる。また、個人情報の管理においても漏洩等のトラブルはなく、市のコロナ対策への協力体制についても積極的に取り組んでいる。</p>															

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	2.94	3.40	3.05	9.39
評価	C	A	A	備考
内 訳				
項目数	17	5	19	
5点	0	0	0	
4点	0	2	1	
3点	16	3	18	
2点	1	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<p>施設の設置目的について、十分に理解した上で、公平性、公共性において、要求水準を満たしている点及び事業計画以上の企画を積極的に取り入れている点が評価できる。また、市や関連団体のコロナ対策事業にも取り組んでおり、公共施設としての役割を果たしている。</p>			
改善が望まれる点 【必須項目】	<p>貸館以外の主催事業について、企画内容に偏りが見受けられることから、市民の幅広い層に受け入れられる催事を企画する必要がある。また、設置されている各種設備の造詣を深めることにより、トラブルを未然に防ぐ施設管理に努めて欲しい。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月23日

1 基本情報

施設名	柏崎市家族旅行村(じよんのび村)	No.	29
指定管理者	株式会社じよんのび村協会		
指定期間	令和4年4月1日	～	令和6年3月31日
施設所管課	産業振興 部		商業観光 課
			1 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R4年度	R5年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目		
萬歳楽(宿泊)	4,446		4,446	システム改修とプロモーションの結果
萬歳楽(宴会・食事)	17,934		17,934	コロナ終息と共に、宴会や料理プランも増やしたため
楽寿の湯	41,083		41,083	プロモーションと温泉の評価が高くなったため
ファームハウス(宿泊)	2,299		2,299	ファームハウスエリアの整備をしたため
売店・カフェ・マルシェ	32,843		32,843	施設を利活用した事業(新規・再開)
合計	98,605	0	98,605	
計画・目標値合計	(120,000)			

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R4年度	R5年度	備考
	1年目	2年目	
法定点検(1回/年)	1回		特定建築物、防火対象物、給水設備、浄化槽、昇降機、電気設備
定期点検(2回/月)	24回		浄化槽(萬歳楽・楽寿の湯)
定期点検(2回/月)	24回		浄化槽(銀兵衛・百菜館 他)
定期点検(6回/年)	6回		浄化槽(ファームハウス)
清掃業務	毎日		日常清掃は自社。その他は業者委託
自主事業	0事業		昨年度は特になし

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5:優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4:良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3:標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2:やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1:劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である -:施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1:施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2:施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3:職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4:条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5:利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6:分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7:意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8:意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9:利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
指定管理業務 【必須項目】	10:事業計画書に沿った事業を実施しているか	4	5	
	11:サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3	
	12:施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3	
	13:施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3	
	14:施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3	
	15:備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3	

【任意項目】	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
		-													
【該当の場合、必須項目】	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
		施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか													
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか													
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか													
【総括I】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.07	評価	A	5	0	4	1	3	14	2	0	1	0
		サービスに関して、新潟産業大学様との連携により、顧客目線でのアンケートを作成・実施することができた。年間で200名近い方からアンケートを頂戴し、改善点なども頂き、対応させて頂いております。人員入替もあり、昔からいるスタッフから若年層かつ高柳町出身以外のスタッフがお客様対応をすることが多くなり、当初は地元の方中心に対応に苦慮した部分がありましたが、夏以降に改善することができています。また、清掃に関しても年2回の全体清掃を行い、不要な品を排出し、館内外清掃を実施しております。売上・入館者数は前年より大きく改善しておりますが、今までのプロモーション結果が出始めています。また事業計画に関しては着任時よりそれに基づき実施しておりますが、手元資金も不足しており、遅れや多少の変更はありますが、ほぼ予定通りに実施しております。													
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.13	評価	S	5	1	4	0	3	14	2	0	1	0
		前年度に課題としたアンケート(再開)について、新潟産業大学と連携して実施するとともに、着実に運営の改善につなげている。利用者数は、目標には届かないものの、前年度64,218人から大きく伸ばすことができている。また、年度当初に計画したものに留まらず、これまでにない意欲的な事業・企画を次々と実施している。特に、(公社)新潟県観光協会と連携した事業や県内・首都圏におけるPR、市内有志・市内事業者・県外事業者とのコラボレーション企画、これらと組み合わせた営業戦略については、他の施設の模範となる取組である。													

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度			2年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目				
収入	指定管理料	0			0	
	追加指定管理料	8,060			8,060	R4光熱費高騰支援、前年度損失補償
	利用料金	167,837			167,837	経営改善の結果
	その他	18,778			18,778	代表取締役報酬(通期)分、各種助成金の活用
	小計	194,675	0		194,675	
	(予算)	(208,000)			(208,000)	
支出	人件費	72,391			72,391	正:9人、非:35人
	光熱水費	36,946			36,946	原油価格等高騰
	修繕費	781			781	最低限の修繕を実施
	委託料	4,074			4,074	外注業務の見直し
					0	
	その他	85,859			85,859	売上増に伴う販管費増
小計	200,051	0		200,051		
(予算)	(207,960)			(207,960)		
収支	差引	△ 5,376	0		△ 5,376	
	(予算)	(40)	(0)		(40)	
黒字比率	-2.8%	#DIV/0!			-2.8%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度			2年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目				
収支	自主事業収入	0			0	
	自主事業支出	0			0	
	差引	0	0		0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準										自己評価	所管課評価		
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による													
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか										3	3		
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか										3	3		
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)										—	—		
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか										4	4		
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか										4	4		
		6: 収支の釣り合いが取れているか※										2	2		
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	C	5	0	4	2	3	2	2	1	1	0
	経常収入は当初予算比で94%の着地になりました。原価率も改善し(前年31%→27%)、一般管理費の販管費率に関しても改善しております(前年93%→79%)。経常利益はマイナスになり、赤字になった原因は売上が損益分岐点に対し7,353千円不足しており、冬季間の収入減が大きな原因になります。経費削減に関しては、原価チェックを厳しく実施して、各部門ごとに減少しております。全体の原価は45,127千円であり、コロナ禍前よりも大きく改善しております。また、無駄な管理費や会費などをこまめにチェックしております。今後の課題は、先述の通り、冬の取り込みと売上増になります。新たにスキー場との連携や冬のインバウンド事業を強化してまいります。														
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	C	5	0	4	2	3	2	2	1	1	0
原油価格高騰による光熱水費高騰という外的要因があり、かつ、温泉宿泊施設であるためその影響を大きく受ける状況(対前年度6,402千円(支出のうち約3%に相当)増)であったにもかかわらず、徹底した原価管理と各種契約の見直しを行い、支出を当初予算比約96%に留めることができています。収支に関しては、黒字比率-2.8%と評価の標準ライン(-2.0%)を若干下回っているものの、過去7年間で最少赤字額となった。平成29(2017)年度や平成30(2018)年度の赤字額の約1/3に改善しており、令和3(2021)年度からの経営改善・各種プロモーションの結果が着実に現れている。国及び県の助成金活用等、財源確保に尽力した上で事業を展開している点については、他の施設の模範となる取組である。															

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準										自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの											
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか										3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか										3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか										3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか										3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか										3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか										3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか										3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか										3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか										3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか										3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか										3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか										3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか										3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか										3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか										3	3
	個人情報保護	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか										3	3

【必須項目】	17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3				
	その他																
【任意項目】	-											-	-				
	-																
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	防火管理者不在でありましたが、2022年度より改善しております。人員も少しずつですが増加しており、体制が昨年度よりも改善しております。夜警スタッフも期中に欠員が生じましたが、なんとか増員しました。しかしながら、高齢化もあり、今後の夜警スタッフの増員と体制強化が必要です。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	防火管理者に関しては、防火管理者の資格保有者は設置されていないが、これまでを含め、代表取締役がその役割を果たしてきている。令和4(2022)年度に改めて資格保有者を設置し、管理体制を改善した。まだ課題はあるものの、高齢化していた組織体制の改善、欠員状態であった職員補充を進めることで、人流回復期への備えを行い、営業回復につなげることができた。	

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.13	3.20	3.00	9.33
評価	S	C	B	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	1	0	0	
4点	0	2	0	
3点	14	2	17	
2点	0	1	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点【必須項目】	<p>新体制移行後、1年半が経過し、これまでの意欲的な取組が数字に現れてきている。 (公社)新潟県観光協会と連携した事業や県内・首都圏におけるPR、市内有志・市内事業者・県外事業者とのコラボレーション企画、これらと組み合わせた営業戦略については、他の施設の模範となる取組である。 国及び県の助成金活用等、財源確保に尽力した上で事業を展開している点については、他の施設の模範となる取組である。</p>			
改善が望まれる点【必須項目】	<p>令和6(2024)年3月の黒字化に向けて、引き続き経営改善を進めてもらいたい。 また、道の駅・地域振興の拠点として、周辺観光情報発信機能や地域連携機能の強化も進めてもらいたい。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月10日

1 基本情報

施設名	ふるさと体験村(門出村・田代村)	No.	30
指定管理者	一般社団法人門出ふるさと村組合 組合長小林康男		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日
施設所管課	市民生活 部	地域事務所	高柳町事務所

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
利用者数1	317	438	716			490	コロナ対策緩和による増
合計	317	438	716	0	0	490	
計画・目標値合計	(1,450)	(1,460)	(1,470)	(1,480)	(1,490)	(1,470)	

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
法定点検(2回/年)	1回	1回	1回			消防設備
定期点検(2回/年)	2回	2回	2回			消防設備、給排水設備点検
清掃業務	毎日	毎日	毎日			日常清掃
清掃業務(1回/年)	2回	2回	1回			定期清掃
自主事業	実施なし	実施なし	実施なし			

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	4	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	4	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	4	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	4	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	4	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	4	4
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	4	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	4	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	4	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	4	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	4	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	5	4
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

100	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
100	自主事業	自主事業がある場合は必須項目														
	【該当の場合、 必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか														
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか														
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか														
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.87	評価	S	5	1	4	11	3	3	2	0	1	0	<p>コロナ対策の緩和により徐々に利用客が増加傾向にある。 リピーターである「かやぶき友の会」会員へのアピールを行い、利用の促進と関係の深化に努めた。 施設管理及び利用者への対応は例年通りに行うことができ、利用者からの評価も高かった。</p>
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.13	評価	A	5	0	4	2	3	13	2	0	1	0	
		アンケート結果からも、サービスに対する評価が高いことが伺える。また、施設面においても、いいもち棟トイレの水漏れから一式取り換え改修するなど、施設の利便性向上に取り組んだことは評価できる。コロナ制限が緩和されたことで、感染対策をとりつつ中止していた教室・イベントの再開に努めコロナ前の利用者数の増加に向けて取り組んでほしい。														

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料					0		
	追加指定管理料	829	218			1,047		
	利用料金	1,672	2,564	4,672			8,908	コロナ対策の緩和による利用者の増
							0	
	その他	2,270	1,449	1,399			5,118	事業復活支援金・農業振興会補助
	小計	4,771	4,231	6,071	0	0	15,073	
	(予算)	(4,050)	(4,050)	(5,050)			(13,150)	
支出	人件費	1,944	1,583	2,461			5,988	正:0人、非:6人【必須】
	光熱水費	349	422	471			1,242	利用者の増加による費用の増
	修繕費	213	107	241			561	いいもち棟2階のトイレの修繕
	委託料	297	208	213			718	
							0	
	その他	1,960	2,256	2,657			6,873	利用者の増加による費用の増
	小計	4,763	4,576	6,043	0	0	15,382	
(予算)	(5,350)	(5,350)	(5,640)			(16,340)		
収支	差引	8	△ 345	28	0	0	△ 309	
	(予算)	(△ 1,300)	(△ 1,300)	(△ 590)	(0)	(0)	(△ 3,190)	
黒字比率	0.2%	-8.2%	0.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	-2.1%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入					0	
	自主事業支出					0	
	差引	0	0	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価				
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による																
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											4	4			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											4	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	2	3	3	2	0	1	0	コロナ禍において赤字となることを見込んでの計画であったが、利用者の増加・国の支援金・農業振興会補助金で黒字とすることができた。 いいもち棟にテーブル・イスを導入し利用者の快適性向上に努めた。 コロナ後の誘客に向けて、体験交流イベントを実施するとともに近接地域で行われている「越後田舎体験」の受入れを行った。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0	コロナ感染防止対策により、利用者数が伸び悩んでいたが、コロナ感染前から参加していた研修会のつながりから、新たなイベントにより利用者数を伸ばしたこと、コロナ感染第7波(7月～9月)の行動制限の中、感染対策を行い、利用者数を前年度より増加させ収支を黒字にしたことは評価できる。	

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3

【必須項目】	17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3		
	その他														
【任意項目】															
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	【必須項目】	施設の運営について現状では大きな問題はないと考えるが、役員・スタッフとも高齢化が進んでおり後継者の育成が大きな課題であり模索している。 高齢化するスタッフではあるが持ち味を生かしながら対応しており、世代交代を目指す手立てを行うことで合意している。													
【総括Ⅲ】	所管課の評価	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	【必須項目】	人員配置は現在適切に行われ、スタッフの評価もアンケートの結果からも良い評価を得られていることは評価できる。今後も、スタッフの資質向上に向けた研修への参加とともに、全国的に自然災害が増えていることから、災害時における研修など情報共有を図り、災害時には適切な安全確保ができるような取り組みをしてほしい。													

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.13	3.20	3.00	9.33
評価	A	A	B	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	0	0	0	
4点	2	1	0	
3点	13	4	17	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況の中、リピーターへの周知等により、利用者数が昨年に比べ増加したことは評価できる。また、施設維持管理についても茅葺屋根に必要な茅をかやぶき友の会から協力を得て、茅狩りをし材料確保に取り組んだことは評価できる。			
改善が望まれる点 【必須項目】	新型コロナウイルス感染症が5類移行したことによって緩和されたことで、以前から利用されていた団体・学校関係等への情報発信を行いコロナ感染症以前の利用者数へ回復してもらいたい。かやぶきの里の立地環境を生かし、研修会等で学んだことを取り入れながら、自主事業としてプログラム構築し新規顧客の獲得につなげてもらいたい。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年6月1日

1 基本情報

施設名	柏崎市さけのふるさと公園	No.	31
指定管理者	青海川町内会(町内会長 片山 新一)		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	産業振興 部		農林水産 課
			3 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
利用者数1	4,363	4,664	5,995	5,007	さけ豊漁まつり再開
合計	4,363	4,664	5,995	5,007	
計画・目標値合計	(12,000)	(12,000)	(12,000)		

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	
さけ豊漁まつり	中止	中止	1回	
さけ放流式	中止	中止	中止	
法定点検(2回/年)	2回	2回	2回	消防設備
定期点検(5回/年)	5回	5回	5回	浄化槽点検
定期点検(1回/年)	1回	1回	1回	大水槽点検
清掃業務	毎日	毎日	毎日	日常清掃

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
	【必須項目】	2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
		利用者対応	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3
	【必須項目】	5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	—	—
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
		指定管理業務	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3
	【必須項目】	11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	2	2
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

100	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
	【任意項目】	学校等の施設見学を積極的に受け入れている										3	3			
	地域活動等サケ関連事業以外にも寄与している(海岸清掃、遠足等)										3	3				
自主事業	自主事業がある場合は必須項目															
	【該当の場合、必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか											—	—		
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか											—	—		
自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか											—	—				
【総括I】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	2.94	評価	C	5	0	4	0	3	15	2	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による規制緩和が進んだこと、また、3年ぶりにさけ豊漁まつりを実施したことによりさけのそ上シーズンを中心に来場者が増加した。 ・市内外の学校からさけ学習の依頼があり、積極的に受け入れを行った。令和3(2021)年度265人 → 令和4(2022)年度310人 ・施設内外の環境整備や清掃をこまめに行い、適切な管理を行っている。
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	2.94	評価	C	5	0	4	0	3	15	2	1	1	0	

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
収入					
指定管理料	3,395	3,395	3,395	10,185	
追加指定管理料	0	0	89	89	光熱費高騰分補助
利用料金	0	0	0	0	
給付金	274	274	274	822	
その他	167	146	96	409	繰越金の減
小計	3,836	3,815	3,854	11,505	
(予算)	(3,835)	(3,850)	(3,800)	(11,485)	
支出					
人件費	1,508	1,287	1,111	3,906	非常勤:5人 稼働時間の減
光熱水費	1,799	1,954	2,055	5,808	電気料金高騰のため増
役務費	65	63	65	193	電話料金の増
委託料	239	396	377	1,012	浄化槽管理委託費の減
使用料及び賃借料	4	4	4	12	
保険料	48	48	48	144	
備品費	4	0	0	4	
雑費	113	58	38	209	消耗品費の減
小計	3,780	3,810	3,698	11,288	
(予算)	(3,835)	(3,850)	(3,800)	(11,485)	
収支					
差引	56	5	156	217	
(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	
黒字比率	1.5%	0.1%	4.0%	1.9%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	H00年度	H00年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収入							
自主事業収入	—	—	—	—	—	0	
自主事業支出	—	—	—	—	—	0	
差引	—	—	—	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											4	4			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0	・利用料収入がないため、指定管理料や原子力立地給付金をもとに施設を運営している。 ・作業の効率化を図り、賃金の削減に努めた。 ・光熱費高騰に伴う対応として、展示室の照明を必要最小限に抑える、展示水槽の稼働率を調整するなど節電に努めた。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0	・限られた予算中で運営できるように、人件費や光熱水費等等を中心に節約を心がけている。 ・収入が限られているため、施設の老朽化に伴う突発的な修繕に対応できない恐れがある。従来行ってきた節約に加えて、自主事業で収益を上げる試みを行う必要がある。	

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの												
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											—	—
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											—	—
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											—	—

その他	【任意項目】	トラブルや苦情等があった際に、速やかに報告しているか											3	3			
		些細なことでも判断に迷う場合は市と相談しているか											3	3			
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	16	2	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の点検を毎日を行っており、業務日誌で適切に記録している。 ・谷根川、海、崖に囲まれている地形のため、災害等緊急時の対応マニュアルを念頭に置きながら業務にあたっている。 	
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	16	2	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者の高齢化に伴い、担い手の発掘や技術継承を前提とした取り組みが必要である。 ・災害等緊急時に必要な知識を持っており、適切な行動がとれるような体制が整っている。 ・大きなトラブルや苦情はなかった。今後もこまめに情報共有を行い、未然にトラブルを防げるよう連携を図りたい。 	

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	2.94	3.20	3.00	9.14
評価	C	A	B	備考
内 訳				
項目数	16	5	16	
5点	0	0	0	
4点	0	1	0	
3点	15	4	16	
2点	1	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴い、イベントや学習の受け入れ体制を徐々にコロナ禍前の状況に戻していけるよう努めている。 ・管理者の高齢化という課題を抱えている一方、業務の効率化を図ることで人件費の削減を実現した。 ・年間を通して、河川やサケ学習に訪れる小学校等の受け入れを積極的に行っている。 			
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の生存に係る重大な不具合は、修繕金額の多寡に応じて早急に市へ報告してもらいたい。 ・施設の老朽化に伴い不具合が多発している。費用対効果や優先順位を考え、随時対応していく必要がある。 			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月17日

1 基本情報

施設名	柏崎市コレクション展示館第1展示館(痴娯の家)	No.	32
指定管理者	公益財団法人かしわざき振興財団		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	産業振興 部	商業観光 課	3 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
利用者数	444	982	781	736	ぐるっとミュージアム利用者の減少
合計	444	982	781	736	0
計画・目標値合計	(1,023)	(1,023)	(1,023)		

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	
日常清掃業務	開館日	開館日	開館日	館内清掃
法定点検	年1回	年1回	年1回	消防設備の点検保守
定期点検	年1回	年1回	年1回	貯水槽点検保守
定期点検	年2回	年2回	年2回	自動ドアの点検保守
定期点検	年2回	年2回	年2回	浄化槽の点検保守
企画展等	年3回	年3回	年3回	春・夏・秋展の実施

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である -: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	4	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	1	1
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

Ⅳ	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
		-													
Ⅴ	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
	【該当の場合、 必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか													
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか													
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか													
【 総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	2.93	評価	D	5	0	4	1	3	13	2	0	1	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が落ち着き始めたため、柏崎コレクションビルディング「蚤の市」を本年度は2回開催し、多くの来場者がありました。好評であったので、毎年開催を考えています。 ・昨年度よりも入場者数が減少した要因としては、新潟県の事業「にいがたぐるっとミュージアム！」での利用の減少によるものです。昨年度は374人でしたが、本年度は有料になったため52人と大幅に減少しました。 ・Facebookによる展示品の紹介投稿のページを増加させ、施設の周知を図りました。 														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	2.87	評価	D	5	0	4	0	3	14	2	0	1	1
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理は、問題なく実施されている。 ・フェイスブック投稿頻度増加、展示品紹介の強化が見られる。今後さらなる情報発信強化に努め、利用者数の増加につなげてもらいたい。 ・指定管理者が有するネットワークなどを生かし、他団体との連携による魅力的なイベントの企画運営による集客に期待したい。 															

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	3年間の 合計	前年度からの増減理由等		
	1年目	2年目	3年目				
収入	指定管理料	6,187	6,187	6,187	18,561		
	追加指定管理料	616	0	225	841	光熱費高騰支援	
	利用料金	175	341	282	798		
	その他	463	463	469	1,395		
	小計	7,441	6,991	7,163	0	0	21,595
	(予算)	(7,016)	(6,836)	(6,836)			(20,688)
支出	人件費	747	965	783	2,495	兼務職員1人	
	光熱水費	1,131	1,229	1,208	3,568		
	修繕費	0	9	2	11		
	委託料	4,495	4,264	4,335	13,094		
					0		
	その他	1,178	798	772	2,748		
	小計	7,551	7,265	7,100			21,916
(予算)	(7,009)	(7,332)	(6,836)			(21,177)	
収支	差引	△ 110	△ 274	63		△ 321	
	(予算)	(7)	(△ 496)	(0)		(△ 489)	
黒字比率	-1.5%	-3.9%	0.9%			-1.5%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	3年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
収支	自主事業収入	0	0	0	0
	自主事業支出	0	0	0	0
	差引	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価				
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による																
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3			
総括Ⅱ)	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0		
	・本年度は63千円の黒字となりました。柏崎市からの燃料費高騰支援分の指定管理料増額や兼務職員の人件費減(前年度比182千円減)が主な要因です。 ・入館者数増加、入館料収入増加を目指し、今後より魅力的な企画展の実施に努めます。																
総括Ⅱ)	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0		
	・多くの施設が経営に苦慮している中、3年連続で収支を概ね均衡させられたことは評価できる。 ・収入の大部分が指定管理料であるため、今後も効率的な運営に努めるとともに、入館者増加・入館料収入増加を目指してもらいたい。																

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											4	4
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3
その他【任意項目】	-											—	—	

総括Ⅲ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	16	2	0	1	0	
指定管理者の 自己評価 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の案内、展示品の説明は経験・知識共に豊富である方に再委託して実施しました。長年、後継者不足という問題がありましたが、新たな人材が見つかり引継ぎを終え、問題は解決しました。 ・市及びコレクションビレッジ他2館と毎月三館会議を行い、情報共有と集客策の検討を重ね、運営に努めています。 														
所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	16	2	0	1	0	
	<ul style="list-style-type: none"> ・長年の課題であった後継者育成・配置を実行し、安定的に運営するための体制を確保することができた。 ・定期的な三館会議により、他のコレクション館だけでなく、市担当課との連携も強化できているため、今後も継続してもらいたい。 														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	2.87	3.00	3.06	8.93
評価	D	B	A	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	0	0	0	
4点	0	0	1	
3点	14	5	16	
2点	0	0	0	
1点	1	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクション展示館3館の指定管理者の中で、最も施設管理に長けている事業者であるため、今後もそのノウハウを生かして運営するとともに、3館連携強化による相乗効果を生み出せるように努めてもらいたい。 ・長年の課題であった後継者育成・配置を実行し、安定的に運営するための体制を確保することができた。 			
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな企画や情報発信を進め、利用者増加につなげてもらいたい。 			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月19日

1 基本情報

施設名	柏崎市コレクション展示館第2展示館(黒船館)	No.	33
指定管理者	一般財団法人黒船館		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	産業振興 部	商業観光 課	3 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
利用者数	496	763	538	599	にいがたぐるっとミュージアム！利用者の減
合計	496	763	538	599	
計画・目標値合計	(1,000)	(1,000)	(1,000)	0	0

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	
日常清掃業務	開館日	開館日	開館日	館内清掃
法定点検	年2回	年2回	年2回	消防設備の点検保守
定期点検	年1回	年1回	年1回	貯水槽点検保守
定期点検	年1回	年1回	年1回	浄化槽点検保守
常設展企画展	開館日	開館日	開館日	常設展示、年3回の季節展示
資料貸出	32件	35件	24件	所蔵資料の貸出

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である -: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	1	1
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

Ⅳ	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
		-											-	-		
		-											-	-		
Ⅴ	自主事業	自主事業がある場合は必須項目														
	【該当の場合、 必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか													-	-
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか													-	-
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか													-	-
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	2.87	評価	D	5	0	4	0	3	14	2	0	1	1	
	常設展示の他に春夏秋の3回の特別展を開催。3館合同開催の蚤の市を開催し集客を図った。しかしながら、前年度入館者の70%程度の入館者実績となった。原因として前年度も参加していたにいがたぐるとミュージアムの割引率の変化がありそれが影響したと考えられる。施設の維持管理に関しては、例年と変わらず適切に行えたと考えられる。															
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	2.87	評価	D	5	0	4	0	3	14	2	0	1	1	
・施設の維持管理は、問題なく実施されている。 ・資料の貸出をきっかけに、市外・県外の方が訪れたり、市外の博物館施設との連携が生まれたりしている。そのような事例を発信し、施設や展示品の価値の再認識につなげ、来館者増につなげてもらいたい。																

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度			3年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目					
収入	指定管理料	2,459	2,459	2,459		7,377		
	追加指定管理料	0	0	107		107	光熱費高騰支援	
	利用料金	198	250	202		650		
	事業収入	623	558	731		1,912		
	その他	423	267	267		957		
	小計	3,703	3,534	3,766	0	0	11,003	
	(予算)	(3,850)	(3,850)	(3,850)			(11,550)	
支出	人件費	2,474	2,593	2,604		7,671	非:2人	
	光熱水費	640	670	699		2,009		
	修繕費	9	0	39		48		
	委託料	0	0	0		0		
						0		
	その他	283	292	339		914		
	小計	3,406	3,555	3,681	0	0	10,642	
(予算)	(3,850)	(3,850)	(3,850)			(11,550)		
収支	差引	297	△ 21	85	0	0	361	
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	黒字比率	8.0%	-0.6%	2.3%			3.3%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度			3年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目				
収支	自主事業収入	0	0	0		0	
	自主事業支出	0	0	0		0	
	差引	0	0	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価				
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による																
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											4	4			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0		
	入館料に関しては、参加させて頂いたぐるとミュージアムバスポート事業の割引率が前年全額から半額になったことで前年程の入館者増員がなかった。掲載料、貸出料は、掲載件数は、減少したもののまとまった数の現物貸出で収入は増加した。経費に関しては、前年との違いはほとんどないが現物貸出の為に旅費、コピー機の2度の故障による修理代金が主に今年の増加要因と考える。																
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0		
・多くの施設が経営に苦慮している中、3年連続で収支を概ね均衡させられたことは評価できる。今後も、効率的な運営に努めてもらいたい。 ・収入の大部分が指定管理料であるため、今後も効率的な施設運営に努めるとともに、入館者増加や価値の高い資料の貸出の強化等に努めてもらいたい。																	

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
	外部委託【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
		5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

その他 【任意項目】	-													-	-
	-													-	-
【総括Ⅲ】 指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	
	人員に関しては、2名のパートスタッフでシフトを組み運営している。団体などの予定、蚤の市開催の際は、2名出勤や館長の出勤で上手く対応することができた。災害、トラブルなどの緊急事態には、3館会議でコミュニケーションを取っている他館とも連携しながら適切に対応できればと考える。														
【総括Ⅲ】 所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	
	実施体制は問題ない。また、定期的な三館会議により、他のコレクション館だけでなく、市担当課との情報共有も適切にできているため、今後も継続してもらいたい。														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	2.87	3.20	3.00	9.07
評価	D	A	B	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	0	0	0	
4点	0	1	0	
3点	14	4	17	
2点	0	0	0	
1点	1	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	・博物館・書籍・教科書等、資料の貸出先が複数あるため、歴史的価値の高い、魅力あるコンテンツを有しているものと考えられる。			
改善が望まれる点 【必須項目】	・資料の貸出をきっかけに、市外・県外の方が訪れたり、市外の博物館施設との連携が生まれたりしている。そのような事例を発信し、施設や展示品の価値の再認識につなげ、来館者増につなげてもらいたい。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月16日

1 基本情報

施設名	柏崎市コレクション展示館第3展示館(同一庵藍民芸館)	No.	34
指定管理者	一般財団法人同一庵藍民芸館		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	産業振興 部	商業観光 課	3 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
利用者数	1,056	1,595	1,601	1,417	春秋企画展による入館者が多く昨年度とほぼ同等
合計	1,056	1,595	1,601	1,417	0 0
計画・目標値合計	(1,200)	(1,200)	(1,200)		

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	
日常清掃業務	開館日	開館日	開館日	館内清掃
定期清掃業務(年1回以上)	年3回	年3回	年3回	窓ガラス、サッシ清掃
機械警備	毎日	毎日	毎日	セキュリティシステムによる警備
点検(年2回)	年2回	年2回	年2回	消防設備の点検保守
点検(年2回及び毎月)	年12回	年12回	年12回	浄化槽点検保守
点検(年2回)	年2回	年2回	年2回	自動ドアの点検保守
敷地内清掃業務	年3回	年3回	年3回	屋外清掃、冬季除雪等
企画展等	年3回	年3回	年3回	春・夏・秋展の実施

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	4	4
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

100	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載															
		-											-	-			
		-											-	-			
100	自主事業 【該当の場合、 必須項目】	自主事業がある場合は必須項目															
		施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか													-	-	
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか													-	-	
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか													-	-	
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.07	評価	A	5	0	4	1	3	14	2	0	1	0	概ね協定等で定めた水準のサービスを提供できている。	
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.07	評価	A	5	0	4	1	3	14	2	0	1	0	・施設の維持管理は、問題なく実施されている。 ・企画展や蚕の市の開催時期である、4・5・10月の来館者数が他の月に比べて大きく増加している。2年連続で利用者数が前年度実績及び目標値を上回っている。	

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度			3年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目					
収入	指定管理料	2,459	2,459	2,459		7,377		
	追加指定管理料	0	0	129		129	光熱費高騰支援	
	利用料金	323	454	526		1,303	秋の蚕の市入館料割引撤廃、JAFセット券入館者増	
	その他	1,021	685	726		2,432	企画展関係の物販販売手数料増加	
	小計	3,803	3,598	3,840	0	0	11,241	
	(予算)	(3,496)	(3,566)	(3,566)			(10,628)	
支出	人件費	2,534	2,537	2,513		7,584	正:1人、非:1人	
	光熱水費	539	580	698		1,817	電気料高騰	
	修繕費	0	0	6		6		
	委託料	0	0	0		0		
						0		
	その他	252	277	247		776		
	小計	3,325	3,394	3,464	0	0	10,183	
(予算)	(3,496)	(3,566)	(3,566)			(10,628)		
収支	差引	478	204	376	0	0	1,058	
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
黒字比率	12.6%	5.7%	9.8%			9.4%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度			3年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目				
収支	自主事業収入	0	0	0		0	
	自主事業支出	0	0	0		0	
	差引	0	0	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価			
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3		
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3		
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—		
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3		
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3		
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											4	4		
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0	
	春及び秋の企画展として外部のグループによる作品展を計画し蚤の市の開催時に入館者が多くなった。更に秋の蚤の市の入館者割引撤廃やJAFセット券入館者増加もあり事業収入増加につながった。また作品展に絡めた物販販売手数料収入も増加した。その他光熱費高騰支援による追加指定管理料もあり全体の収入は対前年比約106%となった。令和2年度より引き続き職員1名は非常勤としており、また企画展のパンフレット等の印刷も低価格のものを選択するなどし経費削減を図った。電気料高騰による光熱費増加により全体の支出は対前年度比102%となり収支の黒字比率は約9%であった。															
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0	
・令和元(2019)年度の赤字決算(△665千円)から立て直し、3年連続の黒字を達成できたことは評価できる。今後も、効率的な運営に努めてもらいたい。 ・企画展における外部との連携により、利用者数・利用料金収入を増やすことができた。 ・収入の大部分が指定管理料であるため、さらなる入館者増加・入館料収入増加を目指してもらいたい。																

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
	外部委託【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
		5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											2	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

その他 【任意項目】	-													-	-
	-													-	-
【総括Ⅲ】 指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	2.94	評価	C	5	0	4	0	3	16	2	1	1	0	
	いずれも概ね遵守している。災害緊急時に必要とされる保険については余裕がなく加入していない。														
【総括Ⅲ】 所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制は問題ない。また、定期的な三館会議により、他のコレクション館だけでなく、市担当課との情報共有も適切にできているため、今後も継続してもらいたい。 ・加入していない保険は、指定管理者所有物品に関するものであり、施設管理上の必要最低限のものではないことから、保険に関する評価は標準とする。 														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.07	3.20	3.00	9.27
評価	A	A	B	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	0	0	0	
4点	1	1	0	
3点	14	4	17	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・目標以上の来館者数を達成している。 ・浴衣着付体験や和紙染め体験は、観光商品としての可能性を持つものであるため、積極的に展開してもらいたい。 			
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の集客ノウハウを他の2館とも共有し、3館全体での利用促進を目指してもらいたい。 ・好評である企画展や蚤の市について、さらなる集客増加に向けた企画の工夫や情報発信の強化を進めてもらいたい。 			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月31日

1 基本情報

施設名	ふるさと体験村(荻ノ島村)	No.	35
指定管理者	合同会社 荻ノ島ふるさと村組合		
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日
施設所管課	市民生活部 部	地域事務所	高柳町事務所
			1 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
宿泊	325					325	
日帰り	44					44	
合計	369	0	0	0	0	369	
計画・目標値合計	(260)	(300)	(410)	(480)	(550)	(2,000)	
日帰り(自主事業)	795					795	9/24にカフェ陽の楽家開業
合計	795	0	0	0	0	795	

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
屋根補修事業	1回					事務局長が実施
法定点検(2回/年)	2回					消防設備、合併処理浄化槽
定期点検(10回/年)	3回					合併処理浄化槽
清掃業務	毎日					日常清掃
除雪業務	随時					屋根雪除雪、入り口除雪
自主事業	4事業					米直販・食事・交流事業・カフェ

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5:優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4:良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3:標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2:やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1:劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —:施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1:施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2:施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3:職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4:条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5:利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6:分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7:意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8:意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9:利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	5	5
指定管理業務 【必須項目】	10:事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3	
	11:サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3	
	12:施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3	
	13:施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3	
	14:施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3	
	15:備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3	

Ⅳ	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
Ⅴ	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
	【該当の場合、 必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか											3	3	
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか											3	3	
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか											3	3	
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.11	評価	S	5	1	4	0	3	17	2	0	1	0
	R4年度でHPも制作し、5年度にアップする予定。 施設の維持管理は、小まめに丁寧に行っている。 安全・安心・寛ぎを柱に公平に、おもてなしに努めたいと考えている。 ビジネス化に向けて着実に進んでいると受け止めている。 FB、じよんのび荻ノ島だより、グーグルマップ、TV新聞記事等で多彩にPRしている。														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.11	評価	S	5	1	4	0	3	17	2	0	1	0
体験プログラムの充実、接客対応やサービスもアンケート結果から満足度が高く、一定の評価を得ていること、2022新潟ガストロノミーアワードに入賞するなど施設サービスに対する評価の高さが伺える。フェイスブック、ホームページを活用して情報発信に努めている。家電製品の入替えやWi-Fiを設置を行い、幅広い年代に利用ができる環境整備に努めていることは評価できる。自主事業として、未使用であった陽の楽家を修繕して、新たなコンテンツとしてカフェをオープンし利用者数の増加につながったことは評価できる。															

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収入	指定管理料					0	
	追加指定管理料					0	
	利用料金	1,877				1,877	入込客の増
						0	
	その他	581				581	GT助成金
	小計	2,458	0	0	0	0	2,458
	(予算)	(3,092)				(3,092)	
支出	人件費	556				556	正:0人、非:4人【必須】
	光熱水費	280				280	
	修繕費	0				0	
	委託料	53				53	
						0	
	その他	1,487				1,487	
	小計	2,376	0	0	0	0	2,376
	(予算)	(3,080)				(3,080)	
収支	差引	82	0	0	0	0	82
	(予算)	(12)	(0)	(0)	(0)	(0)	(12)
黒字比率	3.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	3.3%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入	10,014				10,014	カフェ開業、米直販の増
	自主事業支出	9,580				9,580	
	差引	434	0	0	0	0	434

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											3	3			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											4	4			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	1	3	5	2	0	1	0	様々な制度を活用しながら、今後の目標であるビジネス化に向けて、取り組んでいる。今後の経営基盤の強化に更に努めて行きたい。不使用時にはプレーカーを落とし、また囲炉裏炭立てを作って、炭の使用料を半分に節約。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	1	3	5	2	0	1	0	新型コロナウイルス対策の中、利用者数の若干の増はあるものの、グリーンツーリズム助成金、消耗品削減・節電に努め黒字化したことは評価できる。また、自主事業として陽の楽家をカフェとして活用して新たな収入を確保することに加えて、米の販売の売上げ増加を行ったことは評価できる。指定管理業務である、荻の家・鳥の家の宿泊については、旅行支援などで利用者の増加はあるものの、さらに、誘客促進とサービス向上に向けて取り組んでいただきたい。	

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの												
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

その他 【任意項目】															
【総括Ⅲ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	実施体制については2年後を目途に若手の体制確立に向けて進めている。実施体制の強化を更に探って行きたい。														
【総括Ⅲ】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	施設の良い管理運営に努めていることは評価できる。若手の体制確立に向けて進めていることから、事務担当者を配置するなどして体制の強化に努めていただきたい。														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.11	3.17	3.00	9.28
評価	S	A	B	備考
内 訳				
項目数	18	6	17	
5点	1	0	0	
4点	0	1	0	
3点	17	5	17	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<p>厳しい状況の中、自主事業として未使用の陽の楽家を活用しカフェとしてオープンして、利用者数を昨年より増加したことは評価できる。新潟ガストロノミーアワード「旅館・ホテル30」に入賞するなど、利用者からの満足度評価できる。今後も、ホームページ、フェイスブックなど情報発信を継続して行い、新規利用者の獲得に取り組んでいただきたい。</p>			
改善が望まれる点 【必須項目】	<p>業務分担を明確にし、業務体制の強化とスタッフの資質向上に努め、ビジネス化への取組みを進めていただきたい。コロナ以前の利用者数への回復に向けて、かやぶき集落の特性を活かし、誘客促進に取り組んでいただきたい。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月19日

1 基本情報

施設名	柏崎海洋センター(シーユース雷音)	No.	36
指定管理者	公益財団法人かしわざき振興財団		
指定期間	令和4年4月1日	～	令和6年3月31日
施設所管課	産業振興 部	商業観光 課	1 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R4年度	R5年度				平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目					
宿泊利用者数	7,653					7,653	休館日減少、旅割利用等
日帰り宴会・会食	4,812					4,812	
入浴、研修室利用者	5,860					5,860	
海洋スペース利用者数	1,607					1,607	
合計	19,932	0	0	0	0	19,932	
合計(計画・目標値)	(18,600)						

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R4年度	R5年度			備考
	1年目	2年目			
法定点検(2回/年)	2回				エレベーター、消防設備機器、電気設備点検
定期点検(10回/年)	12回				コ・ジェネ設備、エレベーター
清掃業務	毎日				共用部日常清掃、客室清掃、ベッドメイク
バーベキュー	4か月				利用者711人
振興事業	2事業				ランチバイキング年4回・テイクアウト弁当

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	—	—
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

【任意項目】	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
		-													
【該当の場合、必須項目】	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
		施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか										3	3		
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか										3	3		
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか										3	3		
【総括Ⅰ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
		施設の設置目的と管理運営方針に従い適切に運営しました。休館日案内・浴室営業はホームページにて情報発信・サインージ・館内表示にて営業日の案内を行いお客様の混乱の無いように務めました。施設の保全、美化に務め利用者に満足いただける環境を提供しました。													
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
		<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、接客、料理のサービスに関する評価が高い。不満の声があった、設備、施設の部分において改善が必要である。 SNSやホームページによる情報発信は、昨年度より更新頻度が増しており、利用者拡大に努めていた。 利用者数の目標は達成しているが、コロナ禍前の水準には達していないため、引き続き利用者拡大へ向けた工夫が必要である。 柏崎の海キラキラ未来プロジェクトの普及業務を受託し、海を中心とした観光振興に寄与した。 施設の維持管理は、計画的に行われている。 前年度(令和3(2021)年度)は新型コロナウイルス感染症の影響による休館期間が多く、比較対象に適さないため、利用者数は評価対象外とする。 													

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度					2年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目						
収入	指定管理料	11,000					11,000	
	追加指定管理料等	2,235					2,235	R4光熱費高騰支援、R3損失補填
	利用料金	80,137					80,137	
	その他	3,386					3,386	
							0	
	小計	96,758	0	0	0	0	96,758	
	(予算)	(93,730)					(93,730)	
支出	人件費	48,771					48,771	正:8人(産休1名含)、非:16人
	光熱水費	19,100					19,100	
	修繕費	1,835					1,835	
	委託料	1,535					1,535	
	その他	31,038					31,038	
	小計	102,279	0	0	0	0	102,279	
	(予算)	(93,404)					(93,404)	
収支	差引	△ 5,521	0	0	0	0	△ 5,521	
	(予算)	(326)	(0)	(0)	(0)	(0)	(326)	
	黒字比率	-5.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-5.7%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度					2年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目						
収支	自主事業収入	1,683					1,683	市からの受託事業収入
	自主事業支出	1,397					1,397	同事業に係る支出
	差引	286	0	0	0	0	286	

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準										自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による														
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか										3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか										3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)										3	3			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか										3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか										3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※										2	2			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	2.83	評価	C	5	0	4	0	3	5	2	1	1	0	経費削減とし職員の人数を抑え、繁忙期は他の事業所からの応援をお願いし経費削減を行いました。、利用に応じて休館日を設け光熱水費の削減を行い、原油高の高騰があり、適切なガス契約に変更し高熱水費の削減を行ってきました。宴会パンフレットを新しく作成し、財団の施設に置き、またホームページに掲載し誘客を図りましたが大きな誘客にはつながりませんでした。経費削減、誘客に務めました。が赤字を解消することはできませんでした。
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	2.83	評価	C	5	0	4	0	3	5	2	1	1	0	・休館日の調整や経費の削減に努めていたが、大きな赤字決算となった。 ・人件費が、予算を大きく超過しているため、次年度より精査した計画を立て、それに基づいた執行に努めてもらいたい。

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準										自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの											
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか										3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか										3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか										3	3
	外部委託【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか										3	3
		5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか										3	3
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか										3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか										3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか										3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか										3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか										3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか										3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか										3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか										3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか										3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか										3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか										3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか										3	3

その他 【任意項目】	-													-	-	
	-													-	-	
【総括Ⅲ】 指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	法令を遵守し、事前申請した消防設備機器点検やエレベータ点検業務などを外部業者に委託しました。月次報告等報告書類は期限内に提出しました。危機管理マニュアルを作成し災害やトラブルに対応できる体制を整えておきました。個人情報保護ポリシーに則り厳正に管理しました。	
	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	実施体制について特に問題はない。 市や関係団体と連絡調整は適切に行われていることから、この体制を継続してほしい。	

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.00	2.83	3.00	8.83
評価	B	C	B	備考
内 訳				
項目数	17	6	17	
5点	0	0	0	
4点	0	0	0	
3点	17	5	17	
2点	0	1	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSやホームページでの情報発信の頻度が増えているので、引き続き利用者拡大に向けて取り組んでほしい。 ・海に関する団体と連携して観光振興に努めたことは評価できる。この繋がりを活用し、連携した企画などの検討を進めてほしい。 			
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな生活様式の中で、利用者拡大に向けて、コロナ禍前の水準に達することができるよう努めてほしい。 ・収支が大幅なマイナスとなっていることから、人件費等の経費を十分検討し、収益の確保に努めてほしい。 			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月15日

1 基本情報

施設名	大崎温泉雪割草の湯	No.	37
指定管理者	公益財団法人かしわざき振興財団		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	産業振興 部		商業観光 課
			2 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R3年度	R4年度				平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目					
利用者数(大人)	28,448	32,419				30,434	休館日の減少、イベント実施
利用者数(小人)	2,219	2,736				2,478	休館日の減少、イベント実施
利用者数(幼児)	1,110	1,285				1,198	休館日の減少、イベント実施
合計	31,777	36,440	0	0	0	34,109	
計画・目標値合計	(45,000)	(45,000)					

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R3年度	R4年度				備考
	1年目	2年目				
法定点検(2回/年)	2回	2回				消防設備点検
定期点検(1回/年)	1回	1回				配管定期洗浄消毒
法定・定期点検(1・2・6回/年)	1・2・6回	1・2・6回				機械設備点検 詳細は事業報告書に記載
警備業務	毎日	毎日				夜間機械警備
清掃業務	毎日	毎日				日常清掃、定期清掃
振興事業	11事業	15事業				いい風呂の日イベント、ガラポン大会、リサイクル品販売等

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	4	4
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

100	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
	【任意項目】	利用者等に必要な情報を的確に周知しているか										4	4		
		地元住民、関係団体等との連携に取り組んでいるか										4	4		
	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
【該当の場合、必須項目】		施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか										—	—		
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか										—	—		
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか										—	—		
【総括Ⅰ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.18	評価	A	5	0	4	3	3	14	2	0	1	0
		市内の昭和レトロコレクターからご協力をいただき、ロビーの一角に展示コーナーを設置し、関連商品の販売を行いました。食事処でもレトロに因んだ新メニューの夕日のクリームソーダや、雪割草定食などお客様より好評いただきました。また、地元業者とタイアップして販売イベントを実施したり、ご要望が多かったアロママッサージなどの新規イベントを実施しました。また、市内の日帰り温浴施設とタイアップして、いい湯めぐりスタンプラリーに参加し各施設との連携を図りました。SNSでの発信頻度を増やし施設紹介はもちろんのこと、地域の情報提供にも積極的に取り組み地域振興に貢献しました。													
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.18	評価	A	5	0	4	3	3	14	2	0	1	0
		<ul style="list-style-type: none"> ・展示コーナーの設置や新メニューの開発などは、独自のコンセプトにより誘客を図ったことは評価できる。 ・地元と連携しながらのイベントの実施により、来場者の拡大につながった。 ・SNSでも定期的な情報発信を行っているため、今後はリーチ数を伸ばす取組を進めてもらいたい。地域情報や近隣施設の紹介など地域振興にも努めていた。 ・アンケート結果をもとに随時見直しをおこなっている。今後は指摘のあった館内掲示の改善に努めてもらいたい。 ・施設の維持管理は、問題なく実施されている。 													

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度				2年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目					
収入	指定管理料	6,763	3,763			10,526	
	追加指定管理料	0	1,825			1,825	光熱費高騰支援
	利用料金	14,510	16,711			31,221	
	食事料	8,310	10,330			18,640	
	その他	4,215	2,945			7,160	
	小計	33,798	35,574	0	0	0	69,372
	(予算)	(39,000)	(40,589)				(79,589)
支出	人件費	15,934	15,766			31,700	正:1人、非:7人
	光熱水費	7,620	10,030			17,650	営業日増加、光熱費高騰
	修繕費	187	485			672	小修繕増加
	委託料	3,594	3,786			7,380	委託料値上げ
	その他	8,375	9,443			17,818	
						0	
	小計	35,710	39,510	0	0	0	75,220
(予算)	(38,908)	(40,333)				(79,241)	
収支	差引	△ 1,912	△ 3,936	0	0	0	△ 5,848
	(予算)	(92)	(256)	(0)	(0)	(0)	(348)
黒字比率	-5.7%	-11.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-8.4%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度				2年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目					
収支	自主事業収入	0	0			0	
	自主事業支出	0	0			0	
	差引	0	0	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価		
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による														
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3	
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3	
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—	
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3	
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3	
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											1	1	
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	2.60	評価	D	5	0	4	0	3	4	2	0	1	1
	指定管理に関わる経費は専用の口座で管理しています。公益法人会計に則り適切に管理しています。 令和3年度は休館日を増やし職員の人件費を雇用調整助成金から約200万円程支援をいただいたが、令和4年度は通常営業に戻し収入増を目指したが、収入増に対して、費用の増の方が上回りマイナス決算となった。利用者が増えてきているので、お客様を飽きさせないよう、イベント実施等を定期的に行い、利用者増を図り収支改善を目指したい。														
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	2.60	評価	D	5	0	4	0	3	4	2	0	1	1
・入館者数が増えているものの、収支のマイナスが昨年度より広がっている。 ・物価高騰の影響もあるが、食事等のコスト管理を十分に検討し、収益の確保に努める必要がある。															

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

【任意項目】	その他														
	【必須項目】														
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	【必須項目】	<p>公衆浴場としてお客様が安心して利用できるよう、法令を遵守し水質検査等は定期的に行い管理しています。緊急修繕や緊急対応など、逐次報告し対応について協議しました。また、地元団体及び近隣施設や商工会、雪割草街道連絡会などと情報を共有し、施設営業を円滑に行い、集客を図りました。</p>													
【総括Ⅲ】	所管課の評価	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	【必須項目】	<p>・実施体制について特に問題はない。 ・市や関係団体と連絡調査は適切に行われていることから、この体制を継続してほしい。</p>													

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.18	2.60	3.00	8.78
評価	A	D	B	備考
内 訳				
項目数	17	5	17	
5点	0	0	0	
4点	3	0	0	
3点	14	4	17	
2点	0	0	0	
1点	0	1	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・独自性のあるコンセプトで、利用者にとって魅力ある企画を行っている。昭和レトロの展示コーナー設置やこれに関連したメニューの開発など誘客の工夫が感じられる。 ・地元団体との連携によるイベントの開催などにより、利用者数が昨年度より増加している。 ・SNSの情報発信も精力的に行っていた。 			
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・収支のマイナスが、昨年度よりも広がっているため、コスト管理を徹底し、収支の改善に努めてほしい。 ・地域振興を踏まえた独自性のある企画により、更なる利用者拡大に期待したい。 ・西山地域の観光施設3館の連携による共同企画など、新たな取組による利用者数の増加を期待したい。 			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月9日

1 基本情報

施設名	西山自然体験交流施設(ゆうぎ)	No.	38
指定管理者	株式会社アール・ケー・イー		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	産業振興 部		商業観光 課
			3 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
キャンプ施設	3,335	4,436	4,440	4,070	
加工体験講座	212	538	409	386	陶芸教室参加者減少
バーベキュー	264	372	390	342	
その他	2,126	2,104	2,484	2,238	室内練習場利用者増加
合計	5,937	7,450	7,723	7,037	
計画・目標値合計	(10,895)	(10,895)	(10,895)		

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	
振興事業(体験教室)	29回	70回	32回	食品、陶芸、木工体験教室
法定点検(2回/年)	2回	2回	2回	消防設備総合点検
法定点検(1回/年)	1回	1回	1回	受水槽清掃業務
定期点検(24回/年)	24回	24回	24回	合併処理施設保守点検
定期点検(6回/年)	6回	6回	6回	自家用電気工作物保安全管理業務
清掃業務	毎日	毎日	毎日	日常清掃
警備業務	毎日	毎日	毎日	夜間機械警備
振興事業(イベント)	0事業	1事業	5事業	ゆうぎ秋祭り

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の扱いは適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3

る 評 価		14:施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	4											
		15:備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3											
	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
	【任意項目】	-	-	-											
自主事業		自主事業がある場合は必須項目													
	【該当の場合、 必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか	-	-											
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか	-	-											
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか	-	-											
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	15	2	0	1	0
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症拡大防止の為に管理棟、体験棟、ログハウス、共同施設は使用後は除菌清掃を毎時実施しました。 ・利用者の利用前に検温を実施し施設内でのコロナウイルス感染者の防止に務めました。 ・主な修繕として、センターハウス給湯器修繕実施、施設内道路舗装工事を実施しました。 ・ホームページはオートサイトキャンプ区画図を加え、利用者が観やすく、区画を選べやすくしオートサイトキャンプサイトの利用拡大を図りました。利用者ニーズとしてログハウスにドライバーが欲しいとの声があり設置し利便性向上に繋げました。 														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.07	評価	A	5	0	4	1	3	14	2	0	1	0
<ul style="list-style-type: none"> ・年次的な修繕を直営で行った。施設管理や環境整備に積極的に取り組んでいた。 ・利用者ニーズの聞き取りを行い、利便性向上に反映させた。 ・ホームページについては、改善が見られたが、予約のしやすさや、利用者の利便性を考えた工夫が必要である。 ・キャンプ、バーベキューの利用は、昨年度から大きな変化がなかった。情報発信やイベントの企画など工夫により利用者拡大に努めてほしい。 															

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	3年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目			
収入	指定管理料	8,000	8,000	8,000	24,000	
	追加指定管理料	0	0	658	658	光熱費高騰支援
	利用料金	9,239	10,966	11,732	31,937	
	その他	718	713	668	2,099	
	小計	17,957	19,679	21,058	58,694	
	(予算)	(22,913)	(22,913)	(22,913)	(68,739)	
支出	人件費	8,285	10,122	10,213	28,620	正:2人、非:1人
	光熱水費	2,375	2,634	3,393	8,402	電気料金の値上げ影響
	修繕費	347	470	369	1,186	
	委託料	2,450	3,178	3,559	9,187	除雪業務委託料増額
	その他	3,973	3,641	3,556	11,170	
	小計	17,430	20,045	21,090	58,565	
(予算)	(22,850)	(22,850)	(22,850)	(68,550)		
収支	差引	527	△ 366	△ 32	129	
	(予算)	(63)	(63)	(63)	(189)	
黒字比率	2.9%	-1.9%	-0.2%	0.2%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	3年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
収支	自主事業収入	0	0	0	0
	自主事業支出	0	0	0	0
	差引	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0	・大雪の影響により委託業務料の増加となりましたが収支計画より微減に留まりました。 ・ゆうぎ秋まつりを実施し収益増加に繋がりました。 ・柏崎情報パーク(集合新聞チラシ)2回掲載し施設PRを実施しました。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0	・収支はマイナスではあるものの、おおむね均衡が図られている。 ・直営の修繕や環境整備により経費削減に繋がっている。 ・特徴あるイベントの開催や広報活動により、利用者を増加し、収益の確保に努めてほしい。	

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの												
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

その他 【任意項目】	-													-	-	
	-													-	-	
指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦、柏崎市よりご指導頂き、また関係機関との連絡を行い管理運営を実施する事ができました。 ・ホームページ、SNS更新により施設利用者数対前年比103%伸長することができました。 ・「西山町の自然」写真コンテストを新たに実施し地域の方との交流を図りました。 	
	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0		
所管課の評価 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制について特に問題はない。 ・地域団体と連携し新たな取組として、写真コンテストを行ったことは評価できる。 															
	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0		

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.07	3.00	3.00	9.07
評価	A	B	B	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	0	0	0	
4点	1	0	0	
3点	14	5	17	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・直営による修繕や環境整備により、経費削減に努めたことは評価できる。 ・地域連携による新たな企画として「西山町の自然」写真コンテストを実施し、地域活性化に努めた。 ・収支の均衡が図られてきている。 			
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実やインターネット予約など利用者の利便性を高める工夫が必要である。 ・特色のあるイベントの企画や、SNSによる情報発信により、新規利用者の拡大に努めてほしい。 ・西山地域の観光施設3館の連携による共同企画など、新たな取組による利用者数の増加を期待したい。 			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年 5月25日

1 基本情報

施設名	体育施設 15施設	No.	39-53
指定管理者	公益財団法人かしわざき振興財団		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日
施設所管課	教育委員会	スポーツ振興課	2 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
総合体育館	148,690	154,621				151,656	前年比117.7% コロナ制限の部分緩和による コロナ前比73.7%(H30・2018 年度638,756人)
アクアパーク	91,427	120,419				105,923	
スポーツハウス	31,442	32,520				31,981	
武道館	13,432	15,465				14,449	
その他の施設	115,258	148,047				131,653	
合計	400,249	471,072	0	0	0	435,661	
計画・目標値合計	(629,000)	(629,000)					

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
体育施設業務	一覧表	一覧表				別紙1参照
修繕実績	一覧表	一覧表				別紙2参照
自主事業		1事業				アイスリンク広告看板設置(有料)

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である -: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	4	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3	
	11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	4	4	
	12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3	
	13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3	
	14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3	
	15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	4	3	

【任意項目】	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
	【任意項目】														
	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
	【該当の場合、必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか	3	3											
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか	3	3												
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか	3	3												
【総括I】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	3	3	15	2	0	1	0
		新型コロナウイルスの影響が続き、スポーツ教室及び競技会の人数制限や利用の自粛等もありましたが、緩和された部分もあり体育施設全体の利用者数は約470,000人(117.7%)となりました。特に野外の施設についてはコロナ禍前の状況に戻つつあります。1年を通して市スポーツ振興課をはじめ行政機関と連携し、感染対策を取りながら安全・安心な環境を整え、市民の健康維持やスポーツ活動の場の提供に取り組みました。また、令和4年度も「学校水泳授業補助事業」を受託し、令和3年度の小中2校から小中4校の利用がありました。													
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	17	2	0	1	0
		利用者は117.7%と少しずつ回復傾向が見られる。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じて各施設、集客イベントや各種大会を開催していた。そのため、各施設の利用人数は前年度よりも少しずつだが利用者が増えてきている。安心安全の施設運営をしていた。(問11)													

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	338,204	338,204			676,408		
	追加指定管理料	7,660	39,927			47,587	光熱費高騰支援分増加	
	公益事業収入	105,375	114,833			220,208		
	収益事業収入	7,431	9,866			17,297		
						0		
	小計	458,670	502,830	0	0	0	961,500	
	(予算)	(489,282)	(497,778)				(987,060)	
支出	公益事業費	467,068	499,893			966,961	別紙3参照	
	収益事業費	5,713	8,582			14,295	別紙3参照	
						0		
						0		
						0		
	小計	472,781	508,475	0	0	0	981,256	
	(予算)	(495,925)	(498,735)				(994,660)	
収支	差引	△ 14,111	△ 5,645	0	0	0	△ 19,756	
	(予算)	(△ 6,643)	(△ 957)	(0)	(0)	(0)	(△ 7,600)	
	黒字比率	-3.1%	-1.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-2.1%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入	0	400			400	新規(アイスリンク広告看板)
	自主事業支出	0	215			215	
	差引	0	185	0	0	0	185

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											4	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											3	3			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	1	3	5	2	0	1	0		
	利用制限及び人数制限の一部緩和などで利用料収入やスポーツ教室などの事業収入が前年度よりも1,500万円程度増加しましたが、コロナ禍前の状況には戻っていません。光熱費高騰については指定管理料の追加で対応できましたが、他の物価高騰の影響もあり経費削減の努力を行いました、最終的に支出超過となりました。																
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	6	2	0	1	0		
コロナの感染予防対策を徹底した上で安全安心の施設管理をしていた。人数制限などの緩和もあり、各施設の利用者が増えたこと。また、各教室の制限も緩和し、参加人数が増えた。ただ、水道光熱費、燃料高騰、物価高騰もある中で利用者のサービスを低下することなく公共施設として安定的な施設管理や運営に努めていた。																	

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの												
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											4	4
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

その他 【任意項目】															
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	16	2	0	1	0
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、手指消毒や検温の徹底、施設内の換気などに利用者からも理解と協力を得ながらの運営となりました。また、状況に応じて柏崎市と協議しながら利用制限の緩和に対応してきました。災害等緊急事態を想定した消防訓練や避難訓練等を実施しました。また、各種機械設備の点検整備を実施するなど日頃から職員及び施設管理人の危機管理意識の向上に努めました。管理施設内でのコロナ陽性者判明時の対応につきましても、柏崎市と協議しながら適切迅速に対応いたしました。														
【総括Ⅲ】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	16	2	0	1	0
	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じた上で利用者からの協力を得ながら安全安心な施設運営や管理をしていた。各施設内での陽性者が確認されたときは速やかに報告を受け、その後の状況確認も迅速だった。また、市と連携をとりながら、アクアパークは海外の水球チームを受け入れ貢献してくれた。(問15)														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.06	3.00	3.06	9.11
評価	A	B	A	備考
内 訳				
項目数	18	6	17	
5点	0	0	0	
4点	1	0	1	
3点	17	6	16	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<p>新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じた上で関係者(主催者)と協議をし、各施設を安全安心に利用してもらえるように施設管理及び運営を行った。その結果、各施設の利用人数が増えたことにつながっていることを評価したい。また、令和5(2023)年度7月福岡世界水泳の事前キャンプでアクアパークを使用することになっている。引き続き財団全体で協力をお願いしたい。</p>			
改善が望まれる点 【必須項目】	<p>新型コロナウイルス感染症があったことで行える事業ができなかったが、5類になったことで市民の方も体育施設をコロナ前の時と同じように使用すると思われる。各施設、利用人数を増やしくいくためには新たな事業に取り組んで利用者を増やして行くために検討してほしい。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月31日

1 基本情報

施設名	ワークプラザ柏崎	No.	54
指定管理者	公益社団法人柏崎市シルバー人材センター		
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日
施設所管課	産業振興 部	商業観光 課	4 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
利用者数	76,848	41,078	51,423	56,131		56,370	新型コロナウイルス行動制限緩和のため
合計	76,848	41,078	51,423	56,131	0	56,370	
計画・目標値合計	(88,421)	(88,521)	(88,621)	(88,721)	(88,821)		

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
日常清掃業務	1回/日～1回/月	1回/日～4回/週	1回/日～4回/週	1回/日～4回/週		実施頻度は、業務内容による
定期清掃業務	1回/年～6回/年	1回/年～6回/年	1回/年～6回/年	1回/年～6回/年		実施頻度は、業務内容による
機械警備保障業務	毎日	毎日	毎日	毎日		火災等の感知・通報、遠隔監視・緊急対応
自家用電気工作物保安管理業務	2月/1回・年1回	2月/1回・年1回	2月/1回・年1回	2月/1回・年1回		月次点検、年次点検(受電・配電設備、非常用予備発電装置etc)
消防用設備点検	年2回	年2回	年2回	年2回		総合点検・外観機能点検
自主事業	1事業	0事業	0事業	0事業		

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
	【必須項目】	2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	4
		利用者対応	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3
	【必須項目】	5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	4	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	4	4
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
		指定管理業務	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3
	【必須項目】	11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	4
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	4	4
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	4	4
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	4	4
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

Ⅳ	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
自主事業 【該当の場合、 必須項目】	自主事業がある場合は必須項目														
	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか														
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか														
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか														
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.33	評価	A	5	0	4	5	3	10	2	0	1	0
	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール天井改修工事のため、利用者及び利用料が減少した。 ・蛍光灯を間引きする等、光熱水費及び経費削減の努力を最大限に実施した。 ・昨年に引き続き適正な定員数での利用許可の実施、消毒対応などお客様が安心して利用できるように努力した。 														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	6	3	9	2	0	1	0
利用数が最も多い多目的ホールを、改修工事に伴い6か月間閉鎖したが、利用者数は前年度比9%増となり、利用促進が図られた。意見箱の設置等により利用者からの意見・要望を取り入れる体制を整えており、施設・設備管理等において、迅速に対応している。アンケートでは、接客対応は74%が満足、93%が「今後も利用したい」と回答していることから、利用者の満足度は高いといえる。空調機器の清掃など設備の長寿命化を図るとともに、施設・設備の老朽化により修繕箇所が増加しているが、適切に維持管理している。屋外の徹底した見回りを実施し、駐車車両の対応等に加えて騒音やごみ対策も行っている。															

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	14,873	14,873	14,873	14,873	59,492		
	追加指定管理料	0	922	712	1,633	3,267	(光熱費高騰支援分)	
	利用料金	8,485	6,105	7,223	6,253	28,066	多目的ホール天井改修工事のため	
	損失補償				1,239	1,239	(6月議会に補正予算計上)	
	その他	315	841	253	178	1,587		
	小計	23,673	22,741	23,061	24,176	0	93,651	
	(予算)	(24,049)	(24,070)	(21,514)	(24,115)		(93,748)	
支出	人件費	5,734	5,559	5,709	5,777	22,779	正:1人、非:1人	
	光熱水費	5,410	4,802	4,904	6,212	21,328	光熱費高騰	
	修繕費	1,553	1,635	1,655	1,723	6,566		
	委託料	8,566	9,223	9,092	9,715	36,596		
						0		
	その他	1,450	1,522	1,356	1,125	5,453		
	小計	22,713	22,741	22,716	24,552	0	92,722	
(予算)	(24,049)	(24,070)	(24,096)	(24,115)		(96,330)		
収支	差引	960	0	345	△ 376	0	929	
	(予算)	(0)	(0)	(△ 2,582)	(0)	(0)	(△ 2,582)	
	黒字比率	4.1%	0.0%	1.5%	-1.6%	#DIV/0!	1.0%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入	186	0	0	0	186	
	自主事業支出	176	0	0	0	176	
	差引	10	0	0	0	0	10

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価			
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3		
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3		
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—		
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3		
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3		
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3		
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0	・担当者だけでなく、指定管理者として監査を行い、全体的には外部会計士にも確認してもらっている。 ・日ごろから経費節減を心掛け、委託費等の大幅な経費削減を行なった。 ・現金等は、複数のチェック体制を置き、間違いのないようにしている。
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0	

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
	外部委託【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
		5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											4	4
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	4
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

その他 【任意項目】															
【総括Ⅲ】 指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	16	2	0	1	0	
	<ul style="list-style-type: none"> 市内関係団体や担当課様と連絡を行い、市内の公共施設としての役割を考え管理を行っている。 自転車小屋の屋根が飛ばされる等、災害等緊急時に迅速に適切な対応を実施した。 施設老朽化に伴い修繕費が増加した。 														
【総括Ⅲ】 所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.12	評価	A	5	0	4	2	3	15	2	0	1	0	
	指定管理者に組織されたワークプラザ柏崎運営プロジェクトによるサポート体制が確立されており、利用者のニーズに応え、様々な場面に対応できる人員体制となっている。 消防訓練や設備・機器等異常時の対応訓練、災害発生時の住民避難を想定した訓練等を随時実施している。夜中に災害が発生した際にも、市と連携を図り、直ちに応急措置を講じ、速やかに復旧作業を実施するなど、適切な対応を行った。														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.40	3.00	3.12	9.52
評価	A	B	A	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	0	0	0	
4点	6	0	2	
3点	9	5	15	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	長年培ったノウハウをいかして利便性の向上、コスト削減が図られるとともに、積極的な営業活動が行われている。また、指定管理者が施設に隣接している立地条件を最大限いかして、柔軟かつ豊富な人員配置によりサービスの向上に努めている。「親しまれる施設」としてリピーターも多く、利用者の満足度が高く、加えて、多目的ホールをはじめ各室の稼働率が高い施設となっている。			
改善が望まれる点 【必須項目】	現在の公共施設予約システムは、令和5年10月施行のインボイス制度に対応できないため、新たに専用のレジスターを導入して対応することになるが、これを機に、指定管理者の総括にあるように、システムから出力される領収証書について見直しを図る必要がある。公共施設予約システムの改修については、所管の企画政策課において検討中である。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月22日

1 基本情報

施設名	産業文化会館	No.	55
指定管理者	公益財団法人 かしわざき振興財団		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日
施設所管課	教育委員会	文化・生涯学習課	2 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
文化ホール	12,633	17,731				15,182	コロナ禍からの回復・利用増
大ホール	5,233	11,995				8,614	〃 ・振興事業イベント実施
会議室	13,946	18,723				16,335	コロナ禍からの回復・利用増
展示室	4,357	1,237				2,797	R3年度GOTOイートチケット販売会場
合計	36,169	49,686	0	0	0	42,928	
計画・目標値合計	(74,000)	(75,700)					

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
電気工作物保安管理業務	(1) 1名 (2) ① 12回 ② 1回	(1) 1名 (2) ① 12回 ② 1回				(1) 電気主任技術者 : 東北電気保安協会技術者 (2) 自家用電気工作物 ① 通常: 年12回 ② 臨時: 年1回
設備保守管理業務	(1) 毎日 (2) 4回 (3) 点検1回 (4) 点検1回 (5) 清掃1回 (6) 点検2回 (7) 清掃1回 (8) 点検2回	(1) 毎日 (2) 4回 (3) 点検1回 (4) 点検1回 (5) 清掃1回 (6) 点検2回 (7) 清掃1回 (8) 点検2回				(1) 設備機器操作・監視 ・運転、監視、巡回点検: 毎日 (2) 冷温水発生機 ・冷暖イン、オン: 年4回 (3) ポンプ類 ・点検: 年1回 (4) 冷却塔 ・点検: 年1回、清掃適宜 (5) 蓄熱槽 ・清掃: 年1回 (6) 空調機(ACU) ・点検: 年2回 (7) 加湿装置 ・清掃: 年1回 (8) 給排気ファン ・点検: 年2回
	(9) 点検2回 (10) 免除 (11) 点検4回 遠隔12回 検査1回 (12) 点検2回	(9) 点検2回 (10) 免除 (11) 点検4回 遠隔12回 検査1回 (12) 点検2回 (13) 点検1回 (14) 点検1回 (15) 点検1回				(9) 消防用設備 ・消火器、誘導灯、消火栓、 自動火災報知機、非常用放送設備: 年2回 (10) 防火対象物定期報告 ・定期報告: 年1回、特例認定を受け免除 (11) エレベーター保守点検 ・保守点検: 年4回、遠隔点検: 年12回 法定検査: 年1回 (12) 自動ドア設備 ・点検: 年2回 (13) 自家発電設備 ・保全点検: 年1回 (14) 建築設備 ・保全点検: 年1回 (15) 防火設備 ・保全点検: 年1回 ※(13)～(15)は令和4年度～

環境衛生管理業務	(1) 1名 (2)清掃1回 (3) 1項目週1回 16項目年1回 (4)検査1回 (5)清掃1回 (6)測定6回 (7) 防除 2回 調査 6回	(1) 1名 (2)清掃1回 (3) 1項目週1回 16項目年1回 (4)検査1回 (5)清掃1回 (6)測定6回 (7) 防除 2回 調査 6回				(1)建築物環境衛生管理技術者 (2)受水槽 ・清掃:年1回 (3)上水水質検査 ・1項目水質検査:週1回 ・16項目水質検査:年1回 (4)簡易専用水道 ・検査:年1回 (5)雑排水槽 ・清掃消毒:年1回 (6)空気環境測定 ・空気環境測定:年6回 (7)害虫防除 ・防除:年2回 ・生息調査:年6回
舞台関係設備保守業務	6回	6回				(1)舞台吊物装置保守点検/年2回 (2)舞台照明設備保守点検/年2回 (3)音響・映像設備等保守点検/年2回
清掃及び廃棄物処理業務	毎日	毎日				(1)日常清掃及び定期清掃
ピアノ保守管理業務	2回	2回				(1)総合点検:年2回
敷地内管理業務	毎日	毎日				(1)清掃及び除草等整備
機械警備及び保安業務	毎日	毎日				(1)機械警備:毎日 (2)保安業務:毎日
除雪業務	(1)13日 (2)0日	(1)7日 (2)0日				(1)除雪業務 (2)排雪及び融雪業務
貸館事業 (文化ホール)	70件	91件				(1)文化ホール: 91件
貸館事業 (3F大ホール)	68件	120件				(1)3F大ホール: 120件
貸館事業 (会議室)	1365回	1992回				(1)会議室(1~6・研・応): 1992回
貸館事業 (展示室)	240回	167回				(1)展示室: 167回
振興事業(鑑賞事業)	6事業	9事業				(1)柏崎トレインアトラクション(6/11-12) (2)文化講演会(9/25) (3)さんぶんフリーマーケット・OH! KASHI (10/30) (4)世界文化講座(12/8) (5)柏崎演劇フェスティバル(1月-3月)
振興事業(参加事業)	2事業	2事業				カルチャー教室 (1)春:6講座(4月-7月) (2)秋:6講座(9月-12月)
自主事業	-					-

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準										自己評価	所管課評価			
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による														
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか										4	4		
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか										3	3		
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の扱いは適切であるか										4	4		
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか										3	3		
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか										3	3		
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)										4	4		
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)										3	4		
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか										3	3		
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※										3	3		
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか										3	3		
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか										3	3		
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか										3	3		
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか										3	3		
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか										3	3		
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか										3	3		
その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
	ホームページやSNS等を使って誘客や施設の周知を図る取組を行っているか										4	4			
	環境への配慮がなされているか(省エネルギー、CO2削減等)										4	4			
自主事業 【該当の場合、必須項目】	自主事業がある場合は必須項目														
	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか										—	—			
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか										—	—			
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか										—	—			
【総括I】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.29	評価	A	5	0	4	5	3	12	2	0	1	0
	利用者数、利用日数は昨年と比較し、増加しました。人数制限等を設ける団体もありますが、文化ホールでの催し物や大ホールでの飲食(懇親会)を行う団体も増加しました。 利用者数増加の目的と施設に親しみを感じてもらい、幅広い年代の方から来館いただけるように、新たに館内でのフリーマーケットとダンスイベントを開催しました。管理運営、事業を実施するにあたり、設置目的等を理解し、関係団体や市民団体と協力をしながら進めました。 接遇につきましては、接客時に丁寧な対応をするとともに、チェックシートを用いて、自身の振り返りや他者による評価を行うことで接遇マナーの向上に取組みました。 情報提供等につきましては、ホームページやSNSを活用し、施設利用制限の緩和に関する周知を行ったほか、イベントの集客や日常の管理に関する内容を掲載し、施設に関心を持ってもらうように取組みました。省エネについて、館内照明はLED化が進んでいますが、不要な時間、場所については細かく節電を行っています。 空調機器の運転につきましても、こまめに環境に合わせた温度設定を行っています。														
【総括I】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.35	評価	A	5	0	4	6	3	11	2	0	1	0
	コロナウイルス感染症対策を行いつつ、新規事業を立ち上げ入場者数の増加を図っており、当該施設の認知度の向上に繋がっている点及び積極的なSNSの活用等から施設の設置目的に合致した運営がなされている。また、様々な利用者からの要望や改善提案を受けて積極的に管理運営に反映させている点が評価できる。														

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	52,455	52,455			104,910		
	追加指定管理料		3,647			3,647	光熱費高騰による補填	
	利用料金	11,364	16,842			28,206	利用の増加	
	振興事業収入	501	828			1,329	カルチャー教室受講生の増加	
	その他	4,293	3,402			7,695	行政財産使用料増加(レストランからの入金)	
	小計	68,613	77,174	0	0	0	145,787	
	(予算)	(73,478)	(72,339)				(145,817)	
支出	人件費	32,423	32,520			64,943	正:4人、非:3人(12月以降1名減)	
	光熱水費	9,128	14,873			24,001	電気・ガス料金の高騰	
	修繕費	1,166	1,036			2,202		
	委託料	16,319	17,089			33,408	R3年度休館により減額した業務あり	
							0	
	その他	7,793	9,136				16,929	
	小計	66,829	74,654	0	0	0	141,483	
(予算)	(73,478)	(73,959)				(147,437)		
収支	差引	1,784	2,520	0	0	0	4,304	
	(予算)	(0)	(△ 1,620)	(0)	(0)	(0)	(△ 1,620)	
黒字比率	2.6%	3.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	3.0%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入					0	
	自主事業支出					0	
	差引	0	0	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準		自己 評価	所管 課 評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
収支等に関する 評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか	3	3
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	3	3
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)	—	—
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか	3	3
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか	4	4
		6: 収支の釣り合いが取れているか※	4	4

【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	2	3	3	2	0	1	0
	<p>収入につきましては、コロナ感染症が収まるにつれ、文化ホールでの文化芸術活動や大ホールでの飲食(懇親会)利用等が増えたことで増加しました。また、一時的な収入ではありますが、子育て応援券の換金窓口業務を請負うことで収支改善に努めました。</p> <p>支出につきましては、光熱水費が増加しましたが、ガス、電気等の節減に取り組むとともに、市からの指定管理料増額をうけたことで大幅な増加とはなりません。</p> <p>費用削減につきましては、人員数の見直しを行うことで人件費の削減等に取り組みました。</p> <p>今後は収入増加のため、過去の利用者の利用を促すとともに、新規利用者とリピーターの獲得に努める必要があります。</p>														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	2	3	3	2	0	1	0
<p>コロナ禍からの行動制限の緩和を受けて文化ホールや大ホールの利用が増えたことによる収入増と人員調整及びこまめな節約の結果、収支は黒字となっており、健全な運営がなされている。</p>															

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの			
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか	3	3
	人員体制 【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか	3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか	3	3
		外部委託 【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか	3
	報告等 【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか	3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか	4	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか	4	4
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか	4	4
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	3	3
		トラブル、事件、事故、災害等緊急時 【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか	3
	12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか		3	3
	13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか		3	3
	14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか		3	3
	15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか		3	3
	個人情報保護 【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか	3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか	3	3
その他 【任意項目】	関係団体等との継続的な連携強化の具体的な取組みを実施したか	4	4	

【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.22	評価	A	5	0	4	4	3	14	2	0	1	0
	適正な人員を配置するため、研修会への参加などを継続的に行っています。また、災害時の対応として、協力企業の職員を含めた訓練を実施しています。 施設の管理運営について、業務の状況や、施設の懸案事項について、随時、市と情報を共有しました。日常の管理状況を記録するため、日誌や点検記録は詳細に保存しました。 市への業務報告については、不具合等の報告とともに、対策、改善案及び費用等について提案しました。 貸館業務や事業を進めるにあたり、文化芸術団体や事業者との打合せや連携を密にしながら協力、実施しました。														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	3	3	15	2	0	1	0
指定管理ガイドラインに沿った人員配置及び報告がなされており、適正な管理運営がなされている。またレストラン経営における関連団体とも緊密に連携しており評価できる。															

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.35	3.40	3.17	9.92
評価	A	A	A	備考
内 訳				
4点	6	2	3	
3点	11	3	15	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	コロナウイルス感染症の影響により入場者数の減少が続く中、市の窓口業務を受託する等、財源の確保に努めつつ、新規事業を立ち上げ新たな顧客創出に取り組む姿勢が評価できる。			
改善が望まれる点 【必須項目】	安定感のある事業展開はマンネリ化を招いている面もあり、市民ニーズを捉えて新たな事業展開を行うことで、利用者の若返りを図ることが必要である。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月31日

1 基本情報

施設名	新潟県立こども自然王国	No.	56
指定管理者	株式会社生態計画研究所(柏崎事業所)		
指定期間	令和4年4月1日	～	令和6年3月31日
施設所管課	子ども未来 部	子育て支援 課	1 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R4年度	R5年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目		
宿泊者(県内)	3,727		3,727	コロナの影響が残り、ほぼ横倍。
宿泊者(県外)	982		982	行動制限が弱まり、県外客増加。
キャンプ(県内)	1,177		1,177	キャンプ人気で増加。
キャンプ(県外)	216		216	行動制限が弱まり、県外客増加。
日帰り(団体)	7,724		7,724	コロナ禍、物価高騰などの影響はあるが、徐々に回復。
日帰り(一般)	76,381		76,381	//
スキー場(団体)	1,486		1,486	市内小学校の利用増加。
スキー場(一般)	3,394		3,394	少雪の影響による営業期間短縮で、利用者減少。
合計	95,087	0	95,087	
計画・目標値合計	(91,345)			

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R4年度	R5年度	備考
	1年目	2年目	
特別企画事業	7回		GWあそびフェスタ、カヌーまつり、ハッピースマイルコンサート、防災マルシェ、児童館まつり、クリスマスお楽しみ会、スキー場感謝祭
特別体験プログラム	14回		新緑ヨガ、ムシムシ探検、水辺の生き物探し、ガルルキャンプ夏・冬・春、ジュニアリーダーキャンプ、わんぱくキャンプ、トンボとり大作戦、秘密基地作り、なわなない体験、クリスマスパン作り、雪合戦大会、味噌作り
法定点検(2回/年)	2回		消防設備、空調設備、衛生設備、ボイラー、検便及び食品検査
法定点検(1回/年)	1回		簡易専用水道検査、地下タンク漏洩検査、浄化槽検査、マイクロバス車検
定期点検(12回/年)	12回		エレベーター、合併処理浄化槽
定期点検(6回/年)	6回		電気設備点検
定期点検	1回		圧雪車、スノーモービル
定期点検	4回		遊具点検
定期点検(冬期)	4回		索道施設(リフト)点検 (12月～3月)
浴槽水検査	6回		二月に1回計6回実施
清掃業務	毎日		日常清掃の他、定期大清掃年2回、グリストラップ清掃年3回、貯水槽・貯湯槽・源泉槽清掃年1回実施。
自主事業	14日間		番神自然水族館体験業務 一日2回開催

(3) サービス水準に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価	
		5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である -: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による													
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか											4	4	
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか											3	3	
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか											3	3	
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか											4	4	
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか											4	4	
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)											4	4	
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)											4	4	
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか											4	4	
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※											5	5	
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか											3	3	
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか											4	4	
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか											4	3	
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか											3	3	
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか											4	4	
	その他 【任意項目】	15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか											3	3	
施設所管課等において評価する点等を任意で記載															
ホームページやSNS等を使って誘客や施設の周知を図る取組を行っているか											4	4			
自主事業 【該当の場合、必須項目】	環境への配慮がなされているか(省エネルギー、CO2削減等)											3	3		
	自主事業がある場合は必須項目														
	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか											4	4		
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか											3	3		
【総括I】	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか											4	3		
	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.70	評価	S	5	1	4	12	3	7	2	0	1	0
自己評価：施設の特色や地域の特性を活かした様々な活動を企画し、地域の方々の協力のもと各種イベント・体験プログラムを実施、施設や地域の魅力発信に努めた。また、各種プランや体験活動を提供するとともに、日常的な清掃・消毒や補修を行い、安心・安全に過ごせる施設運営に取り組んだ。 ・文字だけでなく写真やイラストを使い、大きく見やすい分かりやすい情報提供を心掛けた。また今後は、施設のカラーや掲示場所・配置等にも注意を払い、より分かりやすい設置方法に取り組みます。 ・利用者に対し予約確認書や利用申請・減免申請書など送付し、各種書類を提出いただき見積もり等概算経費をお知らせしている。また、書類の書き方例なども一緒に同封した。 ・常にアンケートを実施して、改善可能なものは素早く実行した。また、苦情に関しても、迅速且つ丁寧に対応した。 ・ポイントカードや割引券の発行、無料の日やお得なプランの実施、クレジットカードの利用促進、Go to eat、ONI割キャンペーン、スターチケットへの参加等、サービス向上に取り組んだ。 ・食堂へWi-Fiを設置した。 ・「番神自然水族館事業」に取り組むことで、施設の違った一面や柏崎市のPRとして、魅力を発信できたと思います。															
所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.60	評価	S	5	1	4	10	3	9	2	0	1	0	
・自主事業である「番神自然水族館事業」は、施設の効用を最大限に発揮できる事業となっており、宿泊を兼ねたセットプランとすることで利用促進を図った点で評価できる。 ・新型コロナウイルスの影響やキャンプ需要の高まりを受け、独自にキャンプ場の拡張を計画し実施した点で評価できる。今後も利用者の声を踏まえ、柔軟な運営を展開していただきたい。															

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度			5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目				
収入	指定管理料	76,500			76,500	
	追加指定管理料	4,042			4,042	光熱費等高騰額費用負担補填。
	利用料金	21,227			21,227	利用者増により、収入増加。
	飲食売上	23,337			23,337	〃
	体験指導料	12,491			12,491	〃
	その他	6,568			6,568	〃
					0	
	小計	144,165	0		144,165	
(予算)	(160,241)			(160,241)		
支出	人件費	69,305			69,305	正:14人(10月から13人)、非:11人(冬期のみ+9人)
	光熱水費	11,640			11,640	物価高騰により、増加。
	燃料費	9,264			9,264	〃
	修繕費	3,179			3,179	〃
	委託料(保守含む)	15,520			15,520	委託内容精査により減少。
	消耗品費(食材費)	19,332			19,332	物価高騰により、増加。特に食材費急増。
	使用料・賃借料	5,309			5,309	重機・機器類等の利用増のため、増加
	事業費	2,295			2,295	ほぼ横倍。
	その他	10,268			10,268	物価高騰により、増加。
	小計	146,112	0		146,112	
(予算)	(160,180)			(160,180)		
収支	差引	△ 1,947	0		△ 1,947	
	(予算)	(61)	(0)		(61)	
黒字比率	-1.4%	#DIV/0!			-1.4%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R4年度	R5年度			5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目				
収支	自主事業収入	4,455			4,455	番神自然水族館
	自主事業支出	4,391			4,391	〃
	差引	64	0		64	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準		自己 評価	所管 課評 価
	5:優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている	4:良/協定等で定めた水準以上である		
収支等に関する評価	会計管理	1:指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか	4	3
	収支計画	2:指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	4	3
	収支の改善	3:指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)	4	3
		4:事業計画に基づき、適正に支出を行っているか	4	3
		5:収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか	4	3
		6:収支の釣り合いが取れているか※	3	3

【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.83	評価	A	5	0	4	5	3	1	2	0	1	0
	<p>自己評価：昨年度と比較し、新型コロナウイルスの影響は少しずつ薄れ、来場者が徐々に回復したことに伴い、収入も増加した。しかし、暖冬・少雪に伴いスキー場の再開が遅れ、スキー収入は減少した。支出について、最低賃金の上昇、光熱水費や食材費をはじめとする各種費用が、物価高騰の影響を受け増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比較し、物価高騰の影響は大きく、収支状況はマイナスという結果となった。 ・小学校自然教室やスキーの利用を多数受け、売上増に努めた。また下半期には、「狐の夜祭り」や「高柳雪まつり」の会場として、且つ実行委員として地域の方々と共に地域活性化に努めた。 ・夏休みに、団体の受け入れを積極的に行ったが、新型コロナウイルスの影響や物価高騰の波は大きかった。 ・職員減少に伴う人件費の減少、警備委託等の回数を減らすことで経費を縮減することができた。 ・今後の改善策としては、食事料金や体験料金の値上げ、各種プランの見直し、Wi-Fi環境の整備、野外電気設備のLED化、洋式トイレへの更新、迅速な情報発信と広報強化、地域との連携強化、SDGsへの取り組み、森の整備、猛暑対策の強化、閑散期集客・誘致活動、働き方改革、仕入れ業者等の選定・見直しなど実施していきたい。 														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	6	2	0	1	0
<p>・コロナ禍からの回復により、子ども自然王国ではすべての項目において収入が前年度比増となった一方、高柳スキー場では営業期間の短縮により、すべての項目において前年度比減という結果になった。今後は、雪の影響に左右されない運営方法を模索し、安定的な収益の計上ができるよう努めてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高柳スキー場のオープンが遅くなった影響もあってか、12月及び1月の子ども自然王国の宿泊者数は前年度よりも減少し、それに伴い売上も減少する結果となった。以前からの課題でもあるが、冬場の子ども自然王国の運営次第で、収益の改善が図られるものと考えているため、引き続き冬場の運営について検討をお願いしたい。 															

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの			
法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか		3	3
人員体制 【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか		4	3
	3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか		4	4
外部委託 【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか		3	3
	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか		3	3
報告等 【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか		4	3
	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		4	3
	8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか		4	4
	9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか		4	4
トラブル、事件、事故、災害等緊急時 【必須項目】	10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか		4	4
	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか		4	4
	12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか		4	3
	13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか		3	3
個人情報保護 【必須項目】	14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか		3	3
	15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか		4	4
その他 【任意項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか		4	3
	17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか		3	2
【任意項目】	じよんのび村との連携強化について具体的な取組みを実施したか		4	3
	じよんのび村との将来的な連携の在り方の研究について具体的な取組みを実施したか		3	3

【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.63	評価	A	5	0	4	12	3	7	2	0	1	0
	<p>自己評価：児童厚生員や調理師、保育士といった有資格者を適正人数配置し管理運営に当たり、またスキー場の管理運営に関しても、適正な配置を実施した。</p> <p>日誌の作成や維持管理業務を毎日行い、必要な報告は随時行うよう努めた。また緊急時に備え防災訓練を定期的にも実施、何かあれば柏崎市と連絡を直ぐに取り合うよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修計画、安全衛生管理計画を立て、接遇研修や救命講習、AED点検や衛生設備等の点検、冷媒設備の点検や各種検査を実施しました。 ・報告書類については、期限内に提出するよう努めた。また必要な情報は、連絡や相談をするよう努めた。 ・管理運営マニュアル、個人情報取扱規程等は、常に整備や見直しを実施しました。 ・適宜巡回を実施して事件や事故・災害等の未然防止に努め、また天候の急変に一番注意を払いました。 ・必要な保険に加入した他、イベントや主催事業実施に際し適宜傷害保険を掛けました。 ・じょんのび村とは、イベント毎の情報交換やお互いのPR活動を行った。また維持管理の情報提供やリフト券温泉割引の連携、燃料等の共同見積もりを実施した。 														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.26	評価	C	5	0	4	6	3	12	2	1	1	0
<p>・7月にFAXの誤送信による個人情報の漏えい事案が発生した。事案発生後の対応については、市と連携し、速やか且つ適切に実施したが、そもそも起こしてはいけない事案であった。再発防止策として依頼した「王国管理者全職員に対して個人情報保護及び情報セキュリティ教育を行い、情報管理体制の強化に取り組む」ことを徹底してもらいたい。</p> <p>・職員の退職が続き、欠員が生じている点に関し、今後は、現状の人員に見合った体験プログラムの実施、施設の管理を行っていくことも検討していただきたい。</p>															

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.60	3.00	3.26	9.86
評価	S	B	C	備考
内 訳				
項目数	20	6	19	
5点	1	0	0	
4点	10	0	6	
3点	9	6	12	
2点	0	0	1	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<p>・防災マルシェをはじめとする新しい事業への取組や、妙高自然の家やTHERE IS NOENDOといった事業者と共同で新規のイベントを実施するなど、既存の事業に留まらず、新しいものを追求し、利用者の新規開拓を目指す姿勢は評価できる。</p>			
改善が望まれる点 【必須項目】	<p>・収支に関しては、僅かではあるが最終的に赤字決算となった。ただ、コロナ禍からの回復もあり、利用者数は増加傾向となっているため、それを活かした収支改善策に期待したい。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月31日

1 基本情報

施設名	高齢者生活支援施設結の里	No.	57
指定管理者	社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	福祉保健 部	介護高齢 課	5 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
居住部門	269	247	220	241	189	233	新規の入居もあったが、それを上回るペースで他の施設への入所、入院等による退所が減少の要因と考えられる。
交流室	2,155	2,001	991	1,068	1,083	1,460	前年度から引き続き、感染防止対策を講じての貸出しとなった。暮らしのサポートセンター和が年度途中からサロンのプログラムをコロナ前に近づけていくなど少しずつ参加者数が増加したことが増加した要因と考えられる。
調理室	1,997	1,922	944	1,026	1,046	1,387	前年度から引き続き、感染防止対策を講じての貸出しとなった。暮らしのサポートセンター和が年度途中からサロンのプログラムをコロナ前に近づけていくなど少しずつ参加者数が増加したことが増加した要因と考えられる。
合計	4,422	4,172	2,158	2,339	2,323	3,080	
計画・目標値合計	(4,488)	(4,488)	(4,488)	(4,488)	(4,488)	(4,488)	
集会室2階	2,062	2,480	1,665	1,308	1,325	1,768	集会室の2階・3階の利用者数については、入居者数の減少に伴う入居者同士の交流機会の減少が利用者数の減少の要因と考えられる。
集会室3階	2,202	1,532	1,032	852	501	1,224	集会室の2階・3階の利用者数については、入居者数の減少に伴う入居者同士の交流機会の減少が利用者数の減少の要因と考えられる。

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
消防設備点検	2	2	2	2	2	消防設備総合点検
浄化槽点検	6	6	6	6	6	点検
浄化槽清掃	3	3	3	3	3	清掃2回、第11条検査1回
空調設備点検	4	4	4	4	4	室外機1回、フィルター掃除1回
自動ドア点検	1	2	1	2	2	点検
電気設備点検	2	2	2	2	2	点検
電気工作物保守	7	7	7	7	7	月次点検6回、年次点検1回
エレベーター点検	12	12	12	5	5	昇降機点検4回、年次点検1回
セコム点検	12	12	12	12	12	火災通報・緊急通報
定期清掃業務	2	2	2	2	2	床清掃・窓ガラス清掃
日常清掃業務	週3	週3	週3	週3	週3	日常清掃

(3) サービス水準に関する評価

評価項目		評価基準										自己評価	所管課評価		
		5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である -: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による													
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか										4	3		
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか										4	3		
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか										4	3		
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか										3	3		
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか										3	3		
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)										3	3		
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)										3	4		
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか										3	4		
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※										2	2		
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか										3	3		
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか										3	3		
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか										3	3		
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか										3	3		
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか										3	3		
	その他 【任意項目】	15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか										3	3		
施設所管課等において評価する点等を任意で記載															
自主事業 【該当の場合、必須項目】	自主事業がある場合は必須項目														
	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか										—	—			
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか										—	—			
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか										—	—			
【総括I】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.13	評価	C	5	0	4	3	3	11	2	1	1	0
		・コロナ禍にあって、各種の感染対策を講じた結果、入居者1名の感染が判明したが、その他の入居者や職員から感染者の発生を防ぐことができた。様々な制約もあったが、生きがいと健康づくりを目的に四季を取り入れた行事を可能な範囲で実施した。 ・身体、認知面の機能低下があり、要支援や要介護の認定を受ける入居者も増加している。入院・死亡・施設入所のため空室が埋まらない状況が続いている。所管課と協議し、広報かしわざきでの利用PR、関係機関団体へのPRを実施し利用者確保に努めた。 ・また1日2回の巡回による安否確認等入居者の心身の観察に努め、安定した生活が維持継続できるよう支援した。 ・居住部門の入居者の退去が続き、目標値を下回った。感染症の関係で、交流室はくらしのサポートセンターなど最小限の利用にとどまった。													
【総括I】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.07	評価	C	5	0	4	2	3	12	2	1	1	0
		感染症対策を行いながら、入居者が健康で安心して生活できるように、日々の見守りや季節感のある行事の企画など配慮が見られた。入居者の平均年齢が80歳を超えており、介護認定を受けている方が増加し、巡回や安否確認、相談業務の必要性が高い状況であったが、指定管理者のスキルを生かした対応を行っていた。身体面や認知面の変化に気を配り、関係機関と連携した対応を行っていることで、安心して生活を送っていただくことができた。入居者や家族からの意見に対しては、迅速に対応し、改善策を講じていた。利用者数が前年度より減少した理由は、居住部門の入居者が介護施設に移られて退去が続いたためである。交流部門は、感染症対策を行っての利用が若干増加したが、目標の5割の利用であった。													

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	18,658	18,908	18,658	18,658	18,658	93,540	
	追加指定管理料					608	608	指定管理料(光熱費高騰)増額支援分
	利用料金	4,168	3,875	3,552	3,803	3,032	18,430	
	その他	24	22	24	23	23	116	
							0	
	小計	22,850	22,805	22,234	22,484	22,321	112,694	
	(予算)	(23,185)	(23,291)	(22,909)	(22,753)	(22,116)	(114,254)	
支出	人件費	14,632	14,219	14,066	14,126	13,249	70,292	正職2人、非3人、嘱託2人
	光熱水費	2,908	2,470	2,178	2,331	2,639	12,526	光熱水費の高騰による
	修繕費	256	73	180	178	177	864	
	委託料	1,640	1,498	1,630	1,611	1,979	8,358	
	保守料	2,239	2,559	2,880	2,155	2,521	12,354	
	その他	2,079	2,198	2,134	2,009	1,756	10,176	
	小計	23,754	23,017	23,068	22,410	22,321	114,570	
(予算)	(23,167)	(23,273)	(22,909)	(22,735)	(22,116)	(114,200)		
収支	差引	△ 904	△ 212	△ 834	74	0	△ 1,876	
	(予算)	(18)	(18)	(0)	(18)	(0)	(54)	
黒字比率	-4.0%	-0.9%	-3.8%	0.3%	0.0%	-1.7%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入	0	0	0	0	0	0
	自主事業支出	0	0	0	0	0	0
	差引	0	0	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準		自己 評価	所管 課評 価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか	4	3
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	4	3
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)	—	—
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか	4	3
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか	3	4
		6: 収支の釣り合いが取れているか※	3	3

【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.60	評価	A	5	0	4	3	3	2	2	0	1	0
	法人総務課が経理会計窓口となり、結の里の会計管理を行っている。関連する収支については、適切に対応している。また、計画に沿った支出管理も月次報告書により管理し、対応している。														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0
退去者が多く、入居者数の減少により、賃貸料(利用料金)収入が予算を下回った。事務費支出が増加したうち、光熱費については、高騰分の増額支援を行った。保守料や業務委託料は予算を上回る支出となったが、人件費支出を抑えたことで、収支の均衡を図ることができていた。															

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの			
法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか		3	3
人員体制 【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか		3	3
	3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか		3	3
外部委託 【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか		3	3
	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか		3	3
報告等 【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか		3	3
	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
	8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか		3	3
	9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか		3	3
トラブル、事件、事故、災害等緊急時 【必須項目】	10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか		3	3
	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか		3	3
	12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか		3	3
	13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか		3	3
個人情報保護 【必須項目】	14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか		3	3
	15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか		3	3
その他 【任意項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか		3	3
	17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか		3	3
	関係団体等との継続的な連携強化の具体的な取組みを実施したか		4	4
			—	

【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	17	2	0	1	0
	緊急時に備えて、避難訓練を年2回実施し、避難経路の確認や防火扉の開閉を行い入居者の防火意識の向上を図った。また、救急搬送時には、病院までの付き添い、家族への連絡等の適切な対応を行った。														
【総括Ⅲ】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	17	2	0	1	0
	入居者の平均年齢が80歳を超えており、介護認定を受けている入居者も多いため、災害時や救急対応の際には早期対応が必要である。平時からの訓練による備えと、入居者間の関係づくり、緊急連絡体制、地域や関係機関との連携体制に力を入れており、入居者に寄り添った丁寧な対応を行っているとは評価する。														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価の一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.07	3.20	3.06	9.32
評価	C	A	A	備考
内 訳				
項目数	15	5	18	
5点	0	0	0	
4点	2	1	1	
3点	12	4	17	
2点	1	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	介護サービスを利用しながら生活する入居者が多いが、見守りや巡回による安否確認や相談対応、地域や関係機関との連携体制など、入居者に寄り添った丁寧な対応と支援スキルにより、安心して生活を続けられていることが、評価できた。			
改善が望まれる点 【必須項目】	入居者や家族からの意見に対しては、迅速に対応し、改善策を講じていた。今後も継続してほしい。感染症対策を講じた上で、交流部門の有効利用を図り、地域との交流の場として活用してほしい。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月31日

1 基本情報

施設名	高齢者用冬期共同住宅ひだまり	No.	58
指定管理者	社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	福祉保健部	介護高齢課	5年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
利用者数(延べ入居者数)	8	1	0	0	0	2	入居希望者なし
合計	8	1	0	0	0	2	
計画・目標値合計							

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
延べ入居者数	8	1	0	0	0	
消防設備保守	2	2	2	2	2	消防総合設備点検
浄化槽保守点検	3	3	3	3	3	浄化槽点検3回
空調エアコン	1	0	0	0	0	
電気設備保守	1	1	1	0	0	電気温水器使用前点検
一般工作物保守	4	4	4	4	4	精密検査1回、目視検査3回
エレベーター保守	4	0	0	0	0	
警備業務点検	1	1	1	0	0	
浄化槽清掃				1	1	第11条検査1回
自主事業	-	-	-	-	-	

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である -: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	—	—
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	—	—
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	—	—
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	—	—
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	—	—
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	—	—
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	—	—
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	—	—
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	—	—
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

100	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
	自主事業	自主事業がある場合は必須項目														
	【該当の場合、 必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか											—	—		
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか											—	—			
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか											—	—			
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	6	2	0	1	0	入居を休止した現在、融雪を中心とした施設管理については、基本協定や年度協定に施設管理業務を実施した。
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	6	2	0	1	0	
		ひだまりの設置目的は、豪雪地帯で暮らす高齢者に対して、安心して生活を送ることができる場の提供である。、そこで生活する入居者の支援と施設運営や維持管理が指定管理者の業務であるが、令和2年度以降は利用者を受け入れない方針となったことで、施設の維持管理のみを依頼する結果となった。豪雪地帯であるため、融雪対応が中心の施設管理であったが、適切に管理業務を行っていた。														

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	1,842	1,592	1,000	1,000	1,000	6,434	
	追加指定管理料					9	9	指定管理料増額支援分として
	利用料金	123	13	0	0	0	136	
							0	
	その他						0	
	小計	1,965	1,605	1,000	1,000	1,009	6,579	
(予算)	(2,267)	(1,862)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(7,129)		
支出	人件費	584	573	78	0	294	1,529	
	光熱水費	186	179	165	164	187	881	光熱水費の高騰による
	修繕費	0	0	0	401	0	401	
	委託料	377	380	384	224	224	1,589	
	保守料	490	261	234	205	155	1,345	
	その他	328	212	139	62	149	890	
	小計	1,965	1,605	1,000	1,056	1,009	6,635	
(予算)	(2,267)	(1,862)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	(7,129)		
収支	差引	0	0	0	△ 56	0	△ 56	
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
黒字比率	0.0%	0.0%	0.0%	-5.6%	0.0%	-0.9%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入	0	0	0	0	0	0
	自主事業支出	0	0	0	0	0	0
	差引	0	0	0	0	0	0

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											4	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											4	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	4			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	2	3	3	2	0	1	0	指定管理者として受託する業務は、融雪を中心とした施設管理業務であった。適切に指定管理業務を実施し、令和4年度は光熱費の高騰もあったが、収支の均衡を図ることができた。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0	施設管理業務が主な委託内容で、設備点検や冬期間の融雪対応を適切に行い、経費を執行していた。光熱費の高騰により灯油価格の値上がりがあったが、職員がシステムの入切をこまめに行うことで、効率よく機器を稼働し、収支の均衡を図っていた。	

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの												
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											4	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											—	—
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	4
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

【任意項目】	その他													
【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	15	2	0	1	0
	指定管理者の自己評価	入居者は不在となったが、施設の維持管理に必要な緊急時の連絡体制等の確保は、適切に実施したと評価している。												
【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	15	2	0	1	0
	所管課の評価	降雪時の積雪状況の報告や確認については、市と連携を図り、適切な対応を行っていた。設備点検を適切に実施し、屋根融雪システムの操作についても、丁寧に対応していた。												

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.00	3.20	3.06	9.26
評価	B	A	A	備考
内 訳				
項目数	6	5	16	
5点	0	0	0	
4点	0	1	1	
3点	6	4	15	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	冬期間の施設管理については、融雪システムの稼働を定期的に確認し、降雪時の状況や灯油の使用確認など、丁寧に対応を行っていた。			
改善が望まれる点 【必須項目】	令和4年度で指定管理期間が満了し、高齢者用冬期共同住宅ひだまりの指定管理は廃止となった。冬期の生活の場としての指定管理施設から、施設の維持管理が主な業務になったが、最後まで業務を遂行していた。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月25日

1 基本情報

施設名	元気館障害者デイサービスセンター	No.	59
指定管理者	社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニー		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日
施設所管課	福祉保健部		福祉課
			2年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
生活介護	4,318	4,236				4,277	感染症対応による利用者減
自立訓練(機能訓練)	247	298				273	
放課後等デイサービス	780	920				850	利用希望への対応による増
地域活動支援センターⅡ	1,593	1,311				1,452	介護保険移行、長期欠席による減
合計	6,938	6,765	0	0	0	6,852	
計画・目標値合計	(8,210)	(6,804)					

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
清掃(日常)	毎日	毎日				机、椅子、ベッド、手すり、洗面所、出入り口付近等清拭、厨房内清掃
清掃(定期)	適宜	適宜				備品、ガラス、ブラインド、障子等
保守・点検(日常)	適宜	適宜				備品等Ⅰ種
保守・点検(定期)	1回	1回				厨房機器
保安・警備(日常)	毎日	毎日				センター内巡回、来客情報共有、通用口確認等
保安・警備(定期)	12回	12回				災害防護訓練及び検討、センター外巡回
小規模修繕	適宜	適宜				R4 浴室アコーディオンカーテン交換
備品購入	適宜	適宜				R4 軽自動車1台
教室・イベント・行事	3行事	3事業				ミニえんま市、ミニ運動会、クリスマス会
自主事業	3事業	3事業				一般相談支援事業、特定指定相談支援事業、居宅介護(移動支援)事業

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
	5:優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4:良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3:標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2:やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1:劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー:施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準	基本事項 【必須項目】	1:施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2:施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3:職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4:条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5:利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6:分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	4	4
		7:意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8:意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9:利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	2	2
	指定管理業務 【必須項目】	10:事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11:サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3

に関する評価	12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3										
	13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3										
	14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3										
	15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3										
	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載											
	【任意項目】	多機能型の日中活動支援事業の特性が生かされているか	4	4									
	感染拡大防止対策を適切に実施しているか	4	4										
自主事業	自主事業がある場合は必須項目												
【該当の場合、必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか	—	—										
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか	—	—										
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか	—	—										
【総括Ⅰ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数 3.12	評価 C	5	0	4	3	3	13	2	1	1	0
	所管課の評価【必須項目】	平均点数 3.12	評価 C	5	0	4	3	3	13	2	1	1	0
		<p>○法人のホームページがリニューアルされ、見やすくなった。感染症の状況についても必要時にはホームページや文書でお知らせした。</p> <p>○長期休暇には児童利用者が成人と一緒に活動に参加し、年齢や障害種別を超えた交流を継続することができた。</p> <p>○感染症の防止策については昨年度と同様の対応を行った。感染拡大に伴い利用中に発熱が判明することがあった為、到着時の検温に加えて午後2時にも検温し体調把握に努めた。</p> <p>・ホームページを1回/月更新し、事業所理解、利用促進に取り組んでいる。</p> <p>・障がい者(精神・知的・身体)、障がい児が利用する、多機能型日中活動支援施設であり。多くの障害福祉サービスによる支援内容を提供している。</p> <p>・元気館障害者デイサービスセンターはワンフロアで実施しており、施設内全体を見通せるため、安全を確保しつつ、適宜間仕切り等でプライバシー保持にも配慮されている。清潔も保持されている。</p> <p>・昼食等食事をする場面もあるが、パーティション等を活用し、感染防止対策にも十分に留意して取り組まれている。</p> <p>・利用者の減少した理由は、地域活動支援センターⅡにおいて、65歳に到達した介護保険移行者や、体調不良による長期欠席者によるものであった。</p>											

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収入	指定管理料					0	
	追加指定管理料					0	
	利用料金					0	
	障害福祉サービス等事業	86,378	86,064				172,442
	その他	5,929	6,523				12,452
	小計	92,307	92,587	0	0	0	184,894
	(予算)	(91,244)	(93,683)				(184,927)
支出	人件費	68,895	74,136				143,031 正:9人、非:14人【必須】
	光熱水費	2,783	2,763				5,546
	修繕費	142	317				459
	業務委託費	3,445	3,647				7,092
							0
	その他	12,997	13,208				26,205
	小計	88,262	94,071	0	0	0	182,333
(予算)	(91,210)	(97,795)				(189,005)	
収支	差引	4,045	△ 1,484	0	0	0	2,561
	(予算)	(34)	(△ 4,112)	(0)	(0)	(0)	(△ 4,078)
黒字比率	4.4%	-1.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1.4%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入					0	
	自主事業支出					0	
	差引	0	0	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準												自己 評価	所管 課評 価			
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による																
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか												3	3		
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか												3	3		
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)												—	—		
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか												3	3		
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか												3	3		
		6: 収支の釣り合いが取れているか※												3	3		
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0		
	○減収になった理由について ・地域活動支援センターⅡ型の利用人数が令和3年度に比べて平均1日1人減り、年間で280人程度の減少となったことが大きい。減った理由としては体調不良による長期欠席、介護保険への移行が大きい。生活介護の利用者が減った理由としては感染症による利用の自粛や12月の大雪で2日間程利用者が来館できなかったことが挙げられる。 ・支出の8割が人件費となっている。 ○改善策について ・利用者増に向けて相談支援事業所等へ情報提供を行う。また支援員1人減で対応しているが、サービスの質の低下に繋がらないように、収支を見ながら適正な人員の配置を考えたい。																
所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	5	2	0	1	0			
・収入はコロナ渦の影響により微減、支出は人件費で500万円以上の増額となったことが支出増の要因であるが、職員の適正配置(事務職員の配置)できるよう改善策を掲げている。																	

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準												自己 評価	所管 課評 価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの														
実施	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか												3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか												3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか												3	3
	外部委託【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか												3	3
		5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか												3	3
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか												3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか												3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか												3	3

体制に関する評価	9:市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか	3	3													
	10:市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	3	3													
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時	11:災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか	3	3												
	12:災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか	3	3													
	13:災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか	3	3													
	【必須項目】	14:災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか	3	3												
	15:災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか	3	3													
	個人情報保護	16:個人情報の保護に関する規定を整備しているか	3	3												
	【必須項目】	17:個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか	3	3												
	その他	【任意項目】	事業実施体制を維持するため、人材の確保及び育成に努めているか		4	4										
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価	【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	17	2	0	1	0
	○人材の確保については、強度行動障害基礎研修、実践研修、相談支援専門員現任研修を受講し、事業が維持できるように努めた。 ○法人で契約した動画で受講できる研修を活用し、業務時間と研修時間が両立しやすくなった。															
【総括Ⅲ】	所管課の評価	【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	17	2	0	1	0
	・昨年に引き続き、退職者が出た場合には早急に採用できるように職員配置を整え、職員研修を的確に受講し、職員体制・事業実施体制を構築し、的確に事業実施された。 ・職員が資格を取得し、さらにスキルアップできるように、人材育成のための各種研修受講を継続し、さらに法人内でも動画で研修受講できるよう、職員がスキルアップしやすい環境設定を行った。 ・災害時対応マニュアルの見直しを行い、防災訓練が適時実施された。															

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S:全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A:全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B:全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C:概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D:早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービ)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.12	3.00	3.06	9.17
評価	C	B	A	備考
内 訳				
項目数	17	5	18	
5点	0	0	0	
4点	3	0	1	
3点	13	5	17	
2点	1	0	0	
1点	0	0	0	

【特記事項】	
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・「放課後等デイサービス」として、障がい児サービスを提供しており、特殊浴槽(寝たまま入浴できる)施設を最大限に生かして、児童への入浴についても必要時には実施。本人ニーズに対応した障害福祉サービスの提供を行っている。学校(特別支援学校)も、特別支援学級(市立学校)も下校後迎え入れ、家族のお迎え時間(最長18:15)まで、きめ細やかに対応している。 ・相談支援事業についても実施しているが、相談支援専門員の資格を取得し、さらにスキルアップできるように、各種研修受講を継続し職員の人材育成のための努力を継続している。
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練(機能訓練)は、柏崎市内で唯一のサービスであり、利用者の減少により以前の定員5名から3名に減少した。送迎範囲についても、旧市内が中心であり、西山地区、高柳地区の送迎対応は行っていないため、利用者が制限されることから、課題解決に向けた検討が必要である。 ・元気館障害者デイサービスセンター内で相談支援事業を行っているが、相談支援専門員1名に対し1台ずつパソコンを設置するなど、最低限のICT機器等の労働環境の整備が不十分であるため、改善が必要である。

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月31日

1 基本情報

施設名	柏崎市総合福祉センター	No.	60
指定管理者	社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日
施設所管課	福祉保健 部		福祉 課
			2 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
会議研修室	3,077	3,767				3,422	
調理実習室	0	0				0	
研修室和室	2,080	2,331				2,206	
会議室	4,065	4,264				4,165	
作業研修室	6,762	7,670				7,216	
プレイルーム(R4から心身障害者作業訓練室)	5,940	9,001				7,471	
ボランティア図書館、集会室	2,027	2,026				2,027	
相談、その他	1,225	1,375				1,300	
合計	25,176	30,434	0	0	0	27,805	各部屋における利用人数制限や消毒の徹底等、貸館利用に関する制限を継続した。
計画・目標値合計	(42,000)	(42,200)					

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
イベント	0回	0回				
ボランティア交流会	12回	0回				
エレベーター保守点検	12回	12回				
自動ドア保守点検	2回	2回				
清掃業務	毎日	毎日				
自主事業	なし	25回				

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	4	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3

に関する評価	12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	4												
	13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3												
	14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3												
	15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3												
	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
自主事業 【該当の場合、 必須項目】	自主事業がある場合は必須項目														
	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか	3	3												
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか	3	3												
	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか	3	3												
【総括Ⅰ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	17	2	0	1	0
	評価項目については、概ね出来ていたと評価している。 適宜必要な修繕を行い、使いやすい施設環境の整備に努めた。 また、利用者からの些細なニーズにも耳を傾け、可能な限り応えていき、使いたいと思われるような施設にしていければと思う。														
【総括Ⅰ】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	17	2	0	1	0
	予算が限られた中で、工夫しながら修繕を実施している点が評価できる。 新型コロナウイルス感染症の拡大開始から3年程が経過し、感染症の位置づけも大きく変化しているが、引き続き安全で快適な利用環境を確保することが求められるほか、地域福祉の拠点として、PRへの注力や活用の幅の拡大を必要とする必要がある。														

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収入	指定管理料	22,567	22,668			45,235	
	追加指定管理料	0	2,057			2,057	光熱費高騰に伴う増額支援
	利用料金	164	216			380	
						0	
	その他	649	640			1,289	
	小計	23,380	25,581	0	0	0	48,961
	(予算)	(23,787)	(23,888)				(47,675)
支出	人件費	5,364	4,237			9,601	正:2人(按分)、非:2人【必須】
	光熱水費	6,359	8,623			14,982	
	修繕費	123	58			181	
	委託料	8,862	9,001			17,863	
	租税公課	880	905			1,785	
	その他	2,931	2,942			5,873	
	小計	24,519	25,766	0	0	0	50,285
(予算)	(23,787)	(23,888)				(47,675)	
収支	差引	△ 1,139	△ 185	0	0	0	△ 1,324
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
黒字比率	-4.9%	-0.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-2.7%	

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入		306			306	本来区分で処理したことによる
	自主事業支出		306			306	本来区分で処理したことによる
	差引	0	0	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											4	4			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											3	3			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	1	3	5	2	0	1	0	評価項目については、概ね出来ていたと評価している。 ただ、貸館の利用制限等もあり、必要な経費を賄うだけの利用者の確保ができていないことから、情報発信等を積極的に行い、新規または継続利用者の確保に努めたい。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	1	3	5	2	0	1	0	指定管理業務と自主事業の区別の元、適切な収支管理を継続して行っている。次年度以降も、継続すべきである。 また、人件費、修繕料を中心とする支出経費の削減を行い、赤字幅の削減に繋げられた点が評価できる。 それでもなお、収支改善の余地がある。物価の高騰が顕著であり、また施設の経年による劣化が懸念される中、財源確保のため、より貸館収入を伸ばしていくための取組みが特に求められる。	

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの												
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
	外部委託【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
		5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
	報告等【必須項目】	6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3

【必須項目】	17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか													3	3
	その他														
【任意項目】															
【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	【必須項目】	<p>評価項目については、概ね出来ていたと評価している。 法令順守を徹底し、都度の確認を確実に行っていきたい。 今年度においても特別な有事はなかったが、そういった場合の備えを怠らず、万全の体制をとっていきたいと考えている。</p>													
【総括Ⅲ】	所管課の評価	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0
	【必須項目】	<p>事業計画に基づき、適正な実施体制が取られていると評価できる。 法令の遵守、有事への備えを、今後とも継続することが求められる。 特に、有事の際こそ体制が確実に機能するよう、訓練の実施や市との連携強化を図る必要がある。</p>													

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの) A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの) B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点) C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの) D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.06	3.17	3.00	9.22
評価	A	A	B	備考
内 訳				
項目数	18	6	17	
5点	0	0	0	
4点	1	1	0	
3点	17	5	17	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<p>限られた予算の中での支出削減の取組みにより、収支の改善が見られる点が、前年度と比較して特徴的である。 また、法令順守の元、適正な施設管理がなされており、今後とも継続が望まれる。</p>			
改善が望まれる点 【必須項目】	<p>収支黒字化の実現と、今後必要な修繕費用及び物価高騰対応費用の確保のため、貸館収入を増やすことが特に必要である。 そのために、地域福祉の拠点性のアピールや、利用の幅の拡大に向けた、各種企画や広報、周知活動により注力することが望まれる。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年6月1日

1 基本情報

施設名	柏崎・夢の森公園	No.	61
指定管理者	アール・ケー・イー ホールアースグループ		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	都市整備 部		都市計画 課
			3 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
来園者	57,400	77,200	81,400			72,000	新型コロナからの回復
環境学校	7,201	12,029	12,429			10,553	
市民活動	532	1,171	1,089			931	
合計	65,133	90,400	94,918	0	0	83,484	
計画・目標値合計	(119,200)	(119,200)	(119,200)				来93000人、環25000人、市1200人

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
里山保全作業	毎日	毎日	毎日			土日除く
法定点検	6回	6回	6回			電気設備、エレベーター等 ※消防設備は2回
定期点検	12回	12回	12回			遊具、バイオトイレ、グリストラップ等
清掃業務	毎日	毎日	毎日			日常清掃
カフェ	毎日	毎日	毎日			冬季間除く
自主事業						

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多く業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	4	4
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	5	5
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	4	4
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	5	5
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	4	4
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	4	4
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

価	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
	【任意項目】	カキツバタの水辺を柏崎市の観光資源にするべく、株分けや育成など挑戦的に取り組んでいる	5	5											
		大池のヒシの除草は人力でしかできない作業にも関わらず、手間を惜しまずに精力的に実施している	5	5											
		市の施設・公園として柏崎の活性化につながる取組を、関係者に働きかけながら前向きに取り組んでいる	5	5											
	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
	【該当の場合、必須項目】														
		平均点数	3.78	評価	S	5	5	4	4	3	9	2	0	1	0
		<p>▼全体を通して</p> <p>令和4年度はコロナの感染者数の増減によってプログラムがキャンセルになるなどの影響を受けながらも、予定していたイベントやプログラムをほぼ実施することができた。来園者、プログラム利用者、ボランティアなどコロナ前に数としては及ばないものの、来園者にどうしたら公園で安心して過ごしてもらえるかについて試行錯誤を続けたことで、新しい公園運営の形ができたと感じる1年だった。ちょうど15周年を迎えた節目の年に結果的に来園者数として8万人台の人数を回復することができたことは大きな成果だと考えている。</p> <p>令和5年度に向けては、公園でのイベント開催の相談や共催依頼が複数あがってきており、コロナとの付き合い方が変わることを見越した来園者や利用者の新しい動きが見えてきている。その一方で、令和4年12月の豪雪では臨時休館を余儀なくされ、園内の樹木が推定1000本以上折れるなど、今後の里山管理や次シーズンからの園路の安全管理などに多くの課題が生じる年ともなった。</p> <p>▼一般来園者</p> <p>環境学校のプログラムを利用しない一般の来園者向けには、第2期指定管理期間の3つの重点取組項目(SDGs、獣害、観光)のひとつであるSDGsの取り組みとして、地域でSDGsを意識した商品開発を進める社会福祉団体などと連携し、商品の共同開発や委託販売などを積極的に行った。また獣害問題については、公園内において「ケモノ射的」などのキャッチーな体験を入口として、人と野生動物の共存について考える場を提供するとともに、公園外においては自らの地域の問題として獣害対策を考えられるよう、コミセンと連携して出前での体験プログラムや講座を行った(北条コミセンでの獣害対策講座、中央コミセンでの鹿皮クラフト体験など)。また観光面の取り組みとして、地域の菓子店と共同開発したおみやげの販売戦略を強化したり、夢の森公園主導で新潟県内のカキツバタ名所をめぐる観光マップ制作を調整したり(新潟県内カキツバタ群落マップを令和5年度に発行予定)、大型バスツアーの誘致につなげるためのPR活動、カフェのテイクアウト商品の充実など、様々な切り口から一般来園者向けの活動を行った。</p> <p>▼環境学校</p> <p>昨年度に引き続き、安心して体験プログラムに参加してもらうために家族単位を基本としたプログラムを数多く実施した。令和3年度は荒天のため実施できなかったお盆期間の谷根川溪流ウォークが実施できたり、多くのプログラムで定員以上の参加者を集めることができたことから、結果的に過去最高の売上を達成、収支の改善につながった。また子どもだけのキャンプを求め声に応え令和3年度から始めた「きょうだいキャンプ」を今年度も実施。今回も保護者からも好評で、コロナとの付き合い方が変わってくるであろう令和5年度に向けて地域の観光事業者とも連携し、新たな子ども向けプログラムの開発と準備を行った(令和5年夏に子ども向け「Kashiwazaki 海の冒険学校」をシーユース雷音との共催が決定)。また利用が少なくなる冬季は、大人向けのワークショップ(森のカルチャー教室)に力を入れ、ジビエや鹿皮クラフト、ハーブ、グリーンウッドワークなど、様々な切り口で多くの参加者を集めるとともに、リピーターがより興味を広げながら学びを深めていけるようなラインナップを用意した。持続可能な暮らしや地域をつくっていくためには、SDGsや持続可能性について具体的に自分事として体感できる場と、それを共にできる仲間が必要となる。大人向けの環境学校の取組を広げていくことで人材育成とネットワークづくりを行い、柏崎地域の持続可能な地域づくりに貢献していきたい。</p> <p>▼里山の保全管理</p> <p>令和4年度は、除草の繁忙期が終わった秋季より弱ったマツの伐採および資源の利用の目的からスギを伐採し、15t程度が再資源化された。冬季期間は雪害からの復旧が中心となり、支障木処理や折れた樹木の伐倒を行った。この復旧対応については、今後しばらくは時間を費やすことになると思われる。間伐木のペレット燃料化(スギ材)や、環境学校のクラフトに活用できるものについては、有効的な使用も考えながら早い現状復旧に努めていきたい。</p> <p>また、ここ数年行ってきた夢の森大池のヒシとり作業も、大池内に入ることができる夏季に集中して実施した(岩手県からインターンにやってきた新道小出身の学生にも公園の保全作業の一環として参加してもらった)。膨大な量となっているヒシの除草作業を少ないスタッフで行うには限界があるため、地域の企業や団体にも声掛けを行っているが、全身を水につけながらの作業に許可が出なかつたり躊躇するケースが多い。大池の景観を保ちながら、カヌーなどの環境学校プログラムを継続していくためにも、作業の担い手を増やすことが必要である。</p> <p>▼市民活動</p> <p>高齢の方も多い市民活動ではここ数年大人数で集まるイベントや例会を実施してこなかったが、令和4年度は3年ぶりとなる市民活動団体が一斉に集まる定期総会と里山の感謝祭を実施することができた(人数は制限)。久しぶりに顔を合わせて集まることを喜ぶ声が聞かれた他、15周年という節目で公園づくりに様々な形で貢献してくれている団体の表彰を行い、これも好評だった。また、柏崎日本海ライオンズクラブの30周年記念事業として、かきつばた苑に看板や石碑が寄贈された。特に看板はそのエリアを訪れた人の多くが立ち止まって見るものとなっており、カキツバタのシーズン以外に来園された方が5月に再来園するきっかけとして非常に効果があると思われる。カキツバタをひとつの目玉として、様々な市民、団体がそれぞれの持てる力を持ち寄り、地域活性化を図る夢の森での取組をより推進していきたい。</p>													
		平均点数	3.78	評価	S	5	5	4	4	3	9	2	0	1	0
	所管課の評価	新型コロナウイルスに係る影響がある中、来園者に安心して公園で過ごしてもらうことを第一に取組んだ結果、来園者数は前年度比105%の8万人を超え、環境学校プログラム利用者数についても前年度数値を3%程度上回り、コロナ前の水準に回復した。未だ目標値には及ばないものの、一般来園者などに向けて、重点取組としていたSDGs、獣害、観光などの取組において、共同開発商品の販売、出前での体験プログラムや旅行代理店への誘致活動など新たな分野の開拓を行い施設の利用促進に向け意欲的に事業を展開している。													
	【必須項目】														

【総括I】

指定管理者の自己評価
【必須項目】

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	63,670	63,670	63,670			191,010	
	追加指定管理料	-	-	746			746	光熱費高騰による支援
	利用料金	4,964	8,585	10,856			24,405	コロナからの回復と営業努力
	カフェ	7,857	8,683	10,932			27,472	コロナからの回復と営業努力
	その他	1,019	1,000	1,259			3,278	自販機、原子力給付金
	小計	77,510	81,938	87,463	0	0	246,911	
	(予算)	(83,570)	(84,570)	(84,570)			(252,710)	
支出	人件費	41,081	42,430	43,330			126,841	常勤:7人、非常勤:5人
	光熱水費	3,827	4,096	4,692			12,615	
	修繕費	2,917	3,271	3,746			9,934	
	委託料	15,378	16,214	18,335			49,927	
	広告宣伝費	1,188	1,239	1,346			3,773	
	その他	12,678	14,379	15,548			42,605	
	小計	77,069	81,629	86,997	0	0	245,695	
(予算)	(83,560)	(84,560)	(84,560)			(252,680)		
収支	差引	441	309	466	0	0	1,216	
	(予算)	(10)	(10)	(10)	(0)	(0)	(30)	
黒字比率	0.6%	0.4%	0.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	0.5%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入					0	
	自主事業支出					0	
	差引	0	0	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準		自己 評価	所管 課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による			
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか	3	3
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	3	3
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)	—	—
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか	3	3
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか	4	4
		6: 収支の釣り合いが取れているか※	3	3

【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0
	<p>▼収支 令和3年度まで多く見られたコロナの影響による休館や来園者数の減少、環境学校プログラムの中止やキャンセルなどが少なくなり、プログラムの売上は開園以来初の1,000万円を超えたほか、カフェの売上も過去最高となった。利用者の増加による経費増はあるものの、最終的な収支面では改善が見られた。</p> <p>▼売上 売上増加の要因にはコロナの影響によるアウトドアブームがあったこともあるが、アンケートなどで集めた声を踏まえ利用者ニーズに合わせたイベントやプログラムを開発し、提供できたことが大きな要因であると考えている。また同時に、令和3年度に引き続き、安心して公園を利用していただくための基本的な清掃業務や、気持ちよく安全に公園を散策できるようにするための草刈りや里山の保全管理、来園者層を広げるための広報営業活動など、毎日の地味な努力と改善を着実に積み重ねたことが、売上の増加につながったと考えている。</p> <p>▼支出 支出の中には人件費や消耗品費などプログラム利用者の増加に伴い増加したものもあるが、全体としては第2期指定管理期間に取り組んできた保全管理作業の自社スタッフによる内製化（修繕費と賃借料（リース機材など）が圧縮）や、その他様々な支出項目での経費削減努力が奏功し、全体としての支出を抑えることができた。またデザインや動画編集などの専門性の高い作業を含む広告宣伝費など、プロに依頼することで効果を得られる部分と、自社スタッフが行って経費を抑える部分のすみわけに関するノウハウも蓄積され、かけるべきところにはコストをかけ効果を最大にしつつ、同時にコストも最小化する取り組みが定着してきている。</p>														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0
<p>新型コロナウイルスによる新しい生活様式に対応しながらの取組として、環境プログラムでは、アンケートによる実態調査を行い、結果に基づいた内容に変更しプログラムを提供している。カフェについても、テイクアウトメニューの充実や人気メニューの組合せに選択肢を持たせるなど、消費者の動向を基に経営を行っている。いずれも利用者が求めるものを早期に分析し、素早く柔軟に取り込んだことで、プログラム及びカフェの売上が過去最高の結果となった。また、支出においても、老朽化する施設の修繕件数が増加する中、保全管理や施設の修繕について、自社で実施することで支出の圧縮に努め、収支の増加を図れたことは評価できる。</p>															

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの			
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか	3	3
	人員体制 【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか	4	4
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか	4	4
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか	3	3
	外部委託 【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか	3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか	3	3
	報告等 【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか	3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか	4	4
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時 【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか	3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか	3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか	3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか	3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか	3	3
	個人情報保護 【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか	3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか	3	3
その他 【任意項目】				

【総括Ⅲ】 指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数 3.18 評価 A 5 0 4 3 3 14 2 0 1 0	<p>▼全体を通して 開園15周年となった令和4年度は、コロナ対策をとりながら安心・安全な公園運営を行う体制が安定したものとなり、これらの安心・安全をベースにしながら、指定管理者としていかに収益も同時に確保できる実施体制を組めるかに取り組む1年だった(安全性と収益性の両立)。市民活動運営会議などの市民団体や、カフェや清掃などの委託業者、地元ライオンズクラブなどの地域の諸団体などと連携した実施体制を組むことで、来園者数、売上、安心・安全な公園運営のすべてにおいて成果が見られた。</p> <p>▼環境学校の実施体制 令和4年度も意図的に家族向けの自然体験、キャンプを提供してきたことは既述の通りであるが、これらの体験活動の運営サポートに、市民活動運営会議の里山活用グループのメンバーが活躍している。プログラムの現場での活動はもちろんだが、それらを支える間接業務や準備業務についても市民によるサポート体制を拡充することができた。またその他の実施体制として、コロナ対策をとりながらも深い体験ができるようなプログラム展開の工夫や、会場となる施設の配置の工夫、またそれらの安全対策などの情報が正しく利用者に伝わるためのHPやSNSでの広報体制も整えることができた。</p> <p>令和4年度は15周年という節目も重なりイベントが多く続いたため、スタッフがプログラムや来館者対応、保全作業等に追われることになった。これらはある程度予測することができたため、スタッフの安全面(適正な労務管理、メンタルケアなど)に極力気を配り、ボランティアによる支援を含めシフトを臨機応変に調整しながら、大きな事故なく公園運営を行うことができた。</p> <p>▼施設管理・修繕の実施体制 本年度は資材費の高騰や、資材の入荷までに時間を要することが多く、計画的な修繕および突発的な修繕のいずれにおいても、困難な状況が発生した。しかし、関係会社や自社他部門との連携を駆使し、臨機応変な対応により安全を確保することができた。また、空調を中心とする各機器においては老朽化が顕著に見受けられ、今後部品の調達ができない箇所も想定される。空調に限らず、次年度以降も柏崎市との連絡や調整をとり、各対応に努めたい。</p> <p>また木製のキャノピーウォークや木道、ベンチ等については、これまでも対処的な修繕で維持作業をおこなってきたが、冒険の森の木製遊具については使用を禁止にせざるを得ない状況となった。屋外遊具の修繕はかなり高額の見積もりがきているだけでなく、15年もたつと一か所直してもすぐまた次の箇所がダメになるという可能性も高い。屋内屋外の設備に不具合が相次ぐ中、どの部分に予算を配分していくのか、柏崎市と打ち合わせをしながら長期的な公園運営の視点から戦略的に実施していきたい。</p> <p>▼カフェの実施体制 コロナの影響が続く中ではあったが、令和4年度のカフェの売上は過去最高を記録した。テイクアウトメニューの充実やSNSを活用した販促努力、客単価向上のための取り組みなどをおこなったことが奏功した。令和5年度以降も感染対策を徹底しながら、来園者によりよいサービスを提供すること、地産地消などのコンセプトを形にしていこうと、事業者としての収益を確保していくことにチャレンジしていきたい。</p> <p>▼都市計画課や市役所他部署との連携 コロナ禍で密接に連携を図ってきた柏崎市(都市計画課)とのコミュニケーションが軌道に乗り、緊急事態への対応や安全性確保に向けた連携はもちろん、市民団体との新たな協働についての打ち合わせなど、夢の森公園のポテンシャルをどう活かし柏崎地域の活性化につなげていくことができるかという点について前向きな連携がとれるようになったと感じている。15周年を記念した市役所内でのカキツバタ生け花展示や、ライオンズクラブとのさらなる連携強化のための打ち合わせなど、様々な分野で連携を図ることができた。今後も密に連携をとりながら、公園が持つ価値を最大限発揮できるよう努力したい。</p>
	平均点数 3.18 評価 A 5 0 4 3 3 14 2 0 1 0	<p>所管課の評価 【必須項目】</p> <p>コロナ禍が継続する中、公園施設、環境学校、カフェなどにおいて、安全で安心な運営と安定的な収益確保の両立が求められ、とくに令和4年度は開園15周年も加わり、より多くのイベントを企画、実施をするため、実施体制の構築に力を入れ実施にあたった。実施体制の構築あたっては、協働する市民団体はもちろんのこと、ライオンズクラブなどの関係団体、地域との連携の強化、また、安全性の確保や緊急事態等に備え、本課と密接なコミュニケーションをとりながら、安定的な公園運営に努めたことは評価できる。</p>

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価に一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価に一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.78	3.20	3.18	10.15
評価	S	A	A	備考
内 訳				
項目数	18	5	17	
5点	5	0	0	
4点	4	1	3	
3点	9	4	14	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<p>コロナ禍ではあったが、随所に公園運営の努力や工夫が見られた。特に多く被害のあった冬期間の雪害対応については地道な努力により、安全な園路の確保、里山の保全是内製化により支出の圧縮を図っている。また、利用者の情報収集により来園者の増加、プログラムやカフェにおいて、最高売上額を更新した結果となっている。様々な部分において、公園の魅力の向上を図るため、地道な努力や改善を重ねたことは高く評価できる。</p>			
改善が望まれる点 【必須項目】	<p>コロナ禍を体験した利用者が、より安心して来園してもらえるよう安全・安心に配慮したプログラムの構築、施設運営の工夫など、今後も様々な取組を展開し、さらなる来園者の増加に期待したい。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月25日

1 基本情報

施設名	モーリエ駐車場	No.	62
指定管理者	柏崎商工会議所		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日
施設所管課	産業振興 部	商業観光 課	2 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
利用者数1	75,964	80,303				78,134	
利用者数2							
利用者数3							
利用者数4							
利用者数5							
合計	75,964	80,303	0	0	0	78,134	
計画・目標値合計	(94,900)	(93,600)					

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
各種点検	10回	10回				車路管制設備、エレベーター、自動ドア、防火扉他
駐車場管理業務①	毎日	毎日				開閉、見回り等
駐車場管理業務②	毎月	毎月				利用料金の回収・入金
清掃業務	毎日	毎日				日常清掃
自主事業						

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	4	3
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	4	3
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	4	3
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	3	3
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	4	4
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	4	3
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

Ⅳ	その他 【任意項目】	施設所管課等において評価する点等を任意で記載														
	自主事業 【該当の場合、 必須項目】	自主事業がある場合は必須項目														
		施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか														
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか														
【総括Ⅰ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.33	評価	A	5	0	4	5	3	10	2	0	1	0	
		ここ数年、新型コロナウイルス感染症による催事の中止等の影響を受けてきたが、令和5年5月の感染症分類変更に向けて市民生活も通常の状況へ戻りつつあり、利用者数は前年度比較で増加となった。12月及び1月の大雪に際しては、近隣住民等の一時的利用の増加など通常とは異なる状況となったが、市の担当課等との連携によりトラブルも無くしのぐことができた。利用者アンケートについては、月極契約車を対象として実施し、結果については市担当課にフィードバックしている。また、入口シャッター等の健全性などについて、自主的判断で点検・修繕を実施している。														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.07	評価	A	5	0	4	1	3	14	2	0	1	0	
		コロナ禍によって中止となっていたイベントの再開や、大雪による一時的な避難のために、利用者が前年度よりも増加しており、今後も月極・時間利用ともに需要が見込まれる。大雪に際しては、利用に影響がないよう入口の除排雪を行うなど、利用者への配慮もなされていた。利用者アンケートの結果から、恒常的な利用者の声が聞こえるようになっている。点検義務がなく長らく点検されていなかった入口の開閉シャッターの点検や、屋上部にたまった水抜き・雑草処理等、当初想定されていなかった部分についての、保守管理業務の実施は評価できる。														

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料					0		
	追加指定管理料					0		
	利用料金	18,418	20,816			39,234		
						0		
	その他					0		
	小計	18,418	20,816	0	0	0	39,234	
(予算)	(19,780)	(19,380)				(39,160)		
支出	人件費	6,750	6,750			13,500	正:4人、非:7人【必須】	
	光熱水費	2,336	3,001			5,337	電気料の高騰	
	修繕費	327	1,220			1,547	レコーダー入替、シャッター修繕	
	委託料	1,405	1,393			2,798		
	保守料	2,674	2,750			5,424		
	その他	4,690	5,277			9,967		
	小計	18,182	20,391	0	0	0	38,573	
(予算)	(19,780)	(19,380)				(39,160)		
収支	差引	236	425	0	0	0	661	
	(予算)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
黒字比率	1.3%	2.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1.7%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
収支	自主事業収入	0	0			0	
	自主事業支出	0	0			0	
	差引	0	0	0	0	0	

(3) 収支等に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価			
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3			
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3			
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											—	—			
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3			
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	4			
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											4	4			
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.20	評価	A	5	0	4	1	3	4	2	0	1	0	上記のとおり、利用者数の回復に伴い増収となった。また、冬季の大雪による月極契約の増加も増収の一因ととらえている。一方、電気料の値上げによりコスト増大が進み、市との協議により赤字の補填を見込んでいたが、結果的には黒字で終了し、補填は不必要とした。また、収入の状況を見ながら、予防的修繕(故障する前の入替等)を実施することができた。	
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.40	評価	A	5	0	4	2	3	3	2	0	1	0	上半期分の光熱費高騰に対する指定管理料の支援を行ったが、イベントの開催や大雪による一時避難等による利用者増加に伴って、最終的に黒字となったため支援は行わないこととなった。予算額よりも決算額が増えているが、収入の状況から必要な修繕を実施したためであり、また、これまでの支出状況を見直し新たに遠隔管理システムを導入することで支出を抑えたことは評価できる。今後も利用者増加に伴い収入も増えると考えられるため、必要に応じた修繕等の実施を検討してもらいたい。	

4 実施体制に関する評価

評価項目		評価基準											自己評価	所管課評価
		5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの												
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											4	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											4	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											4	4
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

	その他 【任意項目】														
【総括Ⅲ】	指定管理者の 自己評価 【必須項目】	平均点数	3.18	評価	A	5	0	4	3	3	14	2	0	1	0
		トラブルや不具合の発生時には、速やかに市の担当者に報告し、対応の協議の検討、承認をもらっている。夜間の緊急時等についても、委託先や警備会社との連携を密にしている。日々の報告については、委託先との報告書のやり取りを通じて確認し、漏れのないように努めている。また、月次で業務報告を市の担当課に行っている。施設の供用開始から20年以上経過しており、今後発生すると考えられる修繕案件等についても市担当者との意見交換を行っている。													
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.06	評価	A	5	0	4	1	3	16	2	0	1	0
		トラブル発生時には速やかに市へ報告し、即時対応することで被害を最小限に抑えている。機械の不具合や緊急的な修繕についても速やかに対応・共有しており、大きなトラブルはなく適切な管理が行われている。修繕が必要と見込まれる箇所についても、適宜情報提供がなされている。													

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.07	3.40	3.06	9.53
評価	A	A	A	備考
内 訳				
項目数	15	5	17	
5点	0	0	0	
4点	1	2	1	
3点	14	3	16	
2点	0	0	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	施設竣工から20年が経っており修繕等が必要となる箇所が出てくる中で、当初想定されていなかった部分についても確認及び保守等を実施し、施設の維持管理に努めた。			
改善が望まれる点 【必須項目】	恒常的な利用者に対してアンケートを実施したところ、共通する意見が複数見受けられた。計画的な大規模修繕を実施しているが、いまだ見送っている修繕や突発的に発生する修繕を考慮して、指定管理者と市でより密な協議を行う必要がある。			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月22日

1 基本情報

施設名	柏崎市民活動センター	No.	63
指定管理者	特定非営利活動法人aisa		
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	市民生活 部		市民活動支援 課
			5 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
①交流・活動ルーム2	247	195	7	0	5	91	コロナによる利用規制を緩和したため
②交流・活動ルーム3	3,345	2,555	603	1,301	1,922	1,945	コロナによる利用規制を緩和したため
③来館者数	34,401	29,412	13,841	16,745	23,989	23,678	コロナによる利用規制を緩和したため
合計	37,993	32,162	14,451	18,046	25,916	25,714	
①(計画・目標値)	(150)	(170)	(190)	(200)	(200)	182	
②(計画・目標値)	(1,500)	(1,700)	(1,900)	(2,100)	(2,300)	1,900	
③(計画・目標値)	(32,500)	(34,000)	(35,000)	(36,000)	(37,000)	34,900	
計画・目標値合計	34,150	35,870	37,090	38,300	39,500	36,982	

(1)-② 相談件数の状況

相談件数	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	平均	備考
	762	800	555	450	291	572	コロナ期間中に新規顧客獲得が思うように伸びせなかったため
(計画・目標値)	(700)	(720)	(740)	(750)	(750)	(732)	

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
協働事業	4回	3回	0回	1回	0回	
振興事業	11回	13回	21回	26回	22回	別アングル(年4回)、よるラボin柏崎(年4回)、チャレンジデー(年2回)、LikeWorkSchool(年1回(全5回の講座))、ソーシャルビジネススクール(年1回)、地縁向けコンサル(年2回(アンケート、ヒアリング)、アイデア交換会(年2回)、柏崎NIGHT(年1回)、メディア戦略/デジタルコンテンツ(年1回)
法定点検(5回/年)	6回	6回	6回	5回	5回	消防用設備(3回)、防火対象物(0回:法定検査免除中)、エレベーター(1回)、椅子式階段昇降機(1回)
定期点検(14回/年)	14回	14回	14回	14回	14回	エレベーター(4回)、椅子式階段昇降機(6回)、自動ドア(3回)、空調設備(1回)
簡易点検(12回/年)	12回	12回	12回	12回	12回	エレベーター(12回)
日常清掃業務	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	日常清掃(委託清掃週5回、スタッフ清掃適宜)
定期清掃業務(1回/年)	1回	1回	1回	1回	1回	年1回の大規模清掃
除排雪業務(随時)	4回	0回	7回	9回	7回	除雪(7回)、排雪(0回)
除草業務(随時)	0回	0回	2回	2回	2回	年2回の大規模除草
自主事業(催事)	3回	1回	0回	0回	0回	
自主事業(サービス)	随時	随時	随時	随時	随時	大判プリンタデータ作成、フードドリンクコーディネート 等

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準										自己評価	所管課評価			
	5: 優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4: 良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3: 標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による														
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1: 施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか										3	3		
		2: 施設の公共性及び公平性が保たれているか										3	3		
		3: 職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか										3	3		
	利用者対応 【必須項目】	4: 条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか										3	3		
		5: 利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか										3	3		
		6: 分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)										3	3		
		7: 意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)										3	3		
		8: 意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか										3	3		
		9: 利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※										3	3		
	指定管理業務 【必須項目】	10: 事業計画書に沿った事業を実施しているか										3	3		
		11: サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか										3	3		
		12: 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか										3	3		
		13: 施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか										3	3		
		14: 施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか										3	3		
	その他 【任意項目】	15: 備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか										3	3		
		施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
		19: 柏崎市まちづくり中期計画に基づき事業を実施しているか(仕様書特記事項(1))										4	4		
		20: 市民活動センターの認知度の向上・機能の見える化に努めているか(仕様書特記事項(3))										3	3		
		21: 多様な主体の協働体制の構築に向けた取組を実施しているか(仕様書特記事項(4))										3	3		
自主事業 【該当の場合、必須項目】	自主事業がある場合は必須項目														
	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか										3	3			
	自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか										3	3			
【総括I】	自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか										3	3			
	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.05	評価	A	5	0	4	1	3	20	2	0	1	0
指定管理期間の5年目にあたり、運営ノウハウやスタッフの経験値などを総合的に加味すれば成熟期に入っていると考えており、毎年の増加率は鈍化しているものの、高いサービス水準を維持しており安定した運営ができていますと総括した。 19: 柏崎市まちづくり中期計画で設定した目標値を多くの項目で達成することができた。															
【総括I】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.05	評価	A	5	0	4	1	3	20	2	0	1	0
		19: 中期計画に定めるKGIの達成に向け、今までの開催形式や集客方法を見直すことで、多くの事業で年間KPIを上回る成果を上げることができている。また、関わりが薄かった地縁コミュニティや、若い女性をターゲットとした事業を展開することで、新たなまちのプレイヤー創出のきっかけ作りができていると評価できる。 まちづくり推進拠点の運営・管理者としての自覚を持ち、スタッフが自ら考え、行動したり、利用者からの問合せや相談に対応することによって、高いサービス水準を維持できたと評価する。相談件数について、新型コロナウイルス感染症の制限が徐々に緩和され、個人ではなく団体でのイベント開催の相談等が増えたことや、開館から年月が経過したことにより施設の使用方法に関する問合せが減少したことにより、昨年度に比べて減少している。とはいえ、まちから利用者、活動参加者が徐々に固定化しつつある現状を打開するため、新規利用者や新規活動参加者への求心力向上に向けた取組を期待する。													

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収入	指定管理料	31,860	31,610	30,800	29,150	28,050	151,470	総額:151,470千円
	(排雪経費分)	—	—	173	—	—	173	豪雪に伴う補正予算措置
	(燃料費高騰分)	—	—	—	—	615	615	光熱費高騰に伴う補正予算措置
	利用料金	668	575	223	273	535	2,274	コロナによる利用規制を緩和したため
	振興事業収入	740	289	261	259	267	1,816	
	その他	458	239	319	243	288	1,547	
	小計	33,726	32,713	31,776	29,925	29,755	157,895	
(予算)	(33,380)	(32,895)	(32,312)	(29,953)	(38,745)	(167,285)		
支出	人件費	17,001	16,320	15,640	14,278	13,597	76,836	正:5人、非:2人【必須】
	光熱水費	2,663	2,763	2,572	3,176	3,480	14,654	光熱費単価の上昇
	修繕費	1,106	63	113	386	160	1,828	
	委託料	5,437	5,176	5,621	5,553	5,585	27,372	
	その他	4,879	5,456	4,946	4,586	5,507	25,374	
							0	
	小計	31,086	29,778	28,892	27,979	28,329	146,064	
(予算)	(33,590)	(32,895)	(32,312)	(29,953)	(38,657)	(167,407)		
収支	差引	2,640	2,935	2,884	1,946	1,426	11,831	
	(予算)	(△ 210)	(0)	(0)	(0)	(88)	(△ 122)	
黒字比率	7.8%	9.0%	9.1%	6.5%	4.8%	7.5%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の 合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
収支	自主事業収入	651	663	10	296	1,182	2,802	新規事業による増加
	自主事業支出	378	338	0	53	892	1,661	新規事業による増加
	差引	273	325	10	243	290	1,141	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準		自己 評価	所管 課評 価
	5:優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4:良/協定等で定めた水準以上である 3:標準/協定等で定めた水準である 2:やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1:劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —:施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
収支等に関する評価	会計管理	1:指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか	3	3
	収支計画	2:指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	3	3
	収支の改善	3:指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)	3	3
		4:事業計画に基づき、適正に支出を行っているか	3	3
		5:収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか	3	4
		6:収支の釣り合いが取れているか※	4	4

【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.17	評価	A	5	0	4	1	3	5	2	0	1	0
	指定管理に関する経費と自社の経費を明確に区別して管理している。指定管理料の縮減を目指して、自主事業も含めた収益性のある事業の検討が引き続き必要になる。														
	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.33	評価	A	5	0	4	2	3	4	2	0	1	0
<p>5: フリースペース利用が前提のため収益性が低い施設ではあるが、人材配置の見直しや一般管理費の適正な執行による経費削減に取り組むとともに、施設の特徴を活かした積極的な自主事業の展開により、収支を黒字化できている。</p> <p>6: 上記の取組により黒字比率5%を達成している。</p> <p>社会情勢によって変化する感染症対策等にも柔軟に対応し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境整備を行うことで、利用者及び利用料金収入の増加に繋げ、安定的な施設運営に繋げていることは評価できる。</p> <p>今後、施設利用方法の見直しや各事業のブラッシュアップを行い、施設利用者及び事業参加者の増加に繋げることで、黒字収支の継続的な維持を期待する。</p>															

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である —: 施設の特徴等により該当がないもの			
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか	3	3
	人員体制 【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか	3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか	3	3
		外部委託 【必須項目】	4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか	3
	報告等 【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか	3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか	3	3
		7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか	3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時 【必須項目】	9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか	3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	3	3
		11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか	3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか	3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか	3	3
	個人情報保護 【必須項目】	14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか	3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか	3	3
	その他 【任意項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか	3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか	3	3
		18: 関係者との連携の継続・強化に努めているか(仕様書特記事項(2))	3	3
		19: 中越沖地震メモリアルとの連携・情報共有に努めているか(仕様書特記事項(6))	3	3

【総括Ⅲ】	指定管理者の自己評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	19	2	0	1	0
	各種法令を遵守し、必要な人員体制を整備できている。バックオフィスは、SaaS系のシステムを連携させながら効率化・高セキュリティ化を進めている。市民活動センターと中越沖地震メモリアルとの連携をはかり相乗効果を出せるよう業務フローや人員体制における工夫をしている。														
【総括Ⅲ】	所管課の評価 【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	19	2	0	1	0
	業務執行に必要な人員配置を適切に行うとともに、スタッフのスキルアップを図ることで、施設運営に適切な体制づくりができています。また、施設修繕に係る協議・報告体制について当課と認識を統一し、協議・報告基準の明確化を図った。令和5年度に中越沖地震メモリアル事業が市民活動センター指定管理業務と統合することから、報告体制や人員配置、業務フローなどを改めて確認し、防災と市民活動の相乗効果を生み出す拠点施設としての運用を求める。														

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.05	3.33	3.00	9.38
評価	A	A	B	備考
内 訳				
項目数	21	6	19	
5点	0	0	0	
4点	1	2	0	
3点	20	4	19	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<p>挑戦したい人、一歩踏み出したい人が次のステップに進み、アクションを起こせるように、柏崎市まちづくり中期計画に沿って、既存事業のブラッシュアップや新規事業を展開し、活動に向けたサポートに取り組んでいる。また、単なる貸館施設ではなく、まちづくり推進の拠点施設として広く市民活動をサポートできるように、スタッフのまちづくりコーディネータ資質の向上、利用しやすい環境整備に努めている点は特に評価できる。</p>			
改善が望まれる点 【必須項目】	<p>まちから利用者や事業参加者の固定化という課題を解決するために、まちづくりや市民活動に興味がある人のサポートだけでなく、これまで関心が薄かった個人・団体も事業に参加したり、他のプレイヤーの取組にふれることができる仕組みづくりを検討する必要がある。また、事業を通じて地域コミュニティや学校、公益活動に取り組む民間企業など、立場の異なる団体と関係を構築することで、様々な団体・個人が協働してまちづくりに取り組むことができる環境の整備を期待する。</p>			

令和4(2022)年度 指定管理者モニタリングシート

作成日 令和5(2023)年5月15日

1 基本情報

施設名	西山ふるさと公苑	No.	64
指定管理者	公益財団法人かしわざき振興財団		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和5年3月31日
施設所管課	産業振興 部	商業観光 課	3 年目

2 サービス水準に関する評価

(1) 利用者数の状況

(単位:人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	平均	前年度からの増減理由等
	1年目	2年目	3年目		
一般入館者(展示・ショップ)	28,427	39,472	51,346	39,748	イベント開催による増加
多目的ホール	691	1,182	1,898	1,257	イベント開催による増加、貸館増
楽屋	31	3	25	20	
会議室	293	346	343	327	
合計	29,442	41,003	53,612	41,352	
計画・目標値合計	(60,000)	(60,600)	(61,200)		

(2) 指定管理業務及び自主事業の実施状況(主なもの)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	備考
	1年目	2年目	3年目	
警備業務	毎日	毎日	毎日	
消防用設備保守管理(2回/年)	2回	2回	2回	消防用設備保守管理業務
防火対象物点検(1回/年)	1回	1回	1回	消防法に定められた防火対象物点検
エレベーター保守管理	定期点検4回 遠隔点検12回	定期点検4回 遠隔点検12回	定期点検4回 遠隔点検12回	建築基準法に定められた点検
清掃業務	毎日	毎日	毎日	日常清掃、定期清掃
その他(詳細:事業報告)				その他機器等の保守・管理業務

(3) サービス水準に関する評価

評価項目	評価基準		自己評価	所管課評価
	5:優良/協定等で定めた水準以上のサービス提供がされ、かつ、独自の新たなサービスが提供されている 4:良/協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている 3:標準/協定等で定めた水準のサービスが提供されている 2:やや劣る/概ね協定等で定めた水準のサービス提供がされているが、一部提供されていない部分がある 1:劣る/協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されておらず、早急に改善が必要である —:施設の特性等により該当がないもの ※:(別紙)モニタリングシート評価基準 による			
サービス水準に関する評価	基本事項 【必須項目】	1:施設の設置目的及び管理運営の基本方針を理解しているか	3	3
		2:施設の公共性及び公平性が保たれているか	3	3
		3:職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	3	3
	利用者対応 【必須項目】	4:条例に基づき、施設の利用許可等を適切に実施しているか	3	3
		5:利用料金の徴収、減免を適切に実施しているか	3	3
		6:分かりやすい案内及び十分な情報提供に努めているか(館内表示、ホームページの活用等)	3	3
		7:意見、苦情、要望等を聞く体制を設けているか(アンケート実施、意見箱の設置等)	3	3
		8:意見、苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	3	3
		9:利用者数が目標を達成又は前年度より増加したか※	3	3
	指定管理業務 【必須項目】	10:事業計画書に沿った事業を実施しているか	3	3
		11:サービス向上、利用促進につながる具体的な取組を実施しているか	4	4
		12:施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	3	3
		13:施設敷地内の保安、警備を適切に実施し、事件、事故等の未然防止に努めているか	3	3
		14:施設の保全に努め、必要な修繕を適切に実施しているか	3	3
		15:備品台帳を整備し、備品等を適切に保管・管理しているか	3	3

Ⅳ	その他	施設所管課等において評価する点等を任意で記載													
	【任意項目】	ホームページやSNS等を使って誘客や施設の周知を図る取組みを行っているか										4	4		
		-													
Ⅴ	自主事業	自主事業がある場合は必須項目													
	【該当の場合、必須項目】	施設の効用を最大限に発揮し、利用促進等につながる自主事業を実施したか										3	3		
		自主事業の実施に関して、安全性及び補償体制が確保されていたか										3	3		
		自主事業の実施により、指定管理業務を妨げていないか										3	3		
【総括Ⅰ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	3.11	評価	A	5	0	4	2	3	17	2	0	1	0
	イベントの実施ではコロナウイルス感染状況に注視しながら、いち早く飲食イベントの実施を再開し、集客を集めました。その際にはふるさと館での多目的ホールを活用し、貸館のアピールを行い、その後新規利用者を獲得しました。ホームページでは最新の情報をお知らせし、SNSでの情報発信での頻度を高め、集客を図った。西山地域住民との連携を図り、4つの実行委員会の事務局業務を行い地域振興に貢献しました。														
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	3.11	評価	A	5	0	4	2	3	17	2	0	1	0
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を徹底した中での飲食イベントは、コロナ渦における市内での先行事例となり、地域振興に寄与したことは評価できる。 ・新たなイベントの企画により、利用者拡大に向けて精力的に取り組んでおり、利用者拡大にも繋がっている。 ・SNSによる情報発信の頻度も引き続き高く、集客意欲を感じる。 ・施設の維持管理は、問題なく実施されている。 														

3 収支等に関する評価

(1) 指定管理業務の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目			
収入	指定管理料	33,705	36,993	36,993	107,691	
	追加指定管理料	0	0	1,680	1,680	光熱費高騰支援
	利用料金	29	96	330	455	
	事業収入	2,434	3,151	4,086	9,671	
	その他	459	857	763	2,079	
	小計	36,627	41,097	43,852	121,576	
	(予算)	(42,105)	(42,107)	(41,852)	(126,064)	
支出	人件費	12,898	16,172	14,666	43,736	正:1人、非:3人
	光熱水費	3,007	3,726	5,235	11,968	光熱費高騰
	修繕費	529	128	630	1,287	小修繕増加
	委託料	9,394	9,679	9,278	28,351	マップシステム運用支援分減額
	事業費	4,065	8,568	8,283	20,916	
	その他	6,672	6,721	6,693	20,086	
	小計	36,565	44,994	44,785	126,344	
(予算)	(42,528)	(41,871)	(41,855)	(126,254)		
収支	差引	62	△ 3,897	△ 933	△ 4,768	
	(予算)	(△ 423)	(236)	(△ 3)	(△ 190)	
黒字比率	0.2%	-9.5%	-2.1%	-3.9%		

(2) 自主事業の収支状況

(単位:千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	5年間の合計	前年度からの増減理由等	
	1年目	2年目	3年目			
収支	自主事業収入	134	157	210	501	体験教室他事業実施
	自主事業支出	0	14	70	84	オリジナルTシャツ仕入代他
	差引	134	143	140	417	

(3) 収支等に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価			
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの ※: (別紙)モニタリングシート評価基準 による															
収支等に関する評価	会計管理	1: 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して管理しているか											3	3		
	収支計画	2: 指定管理業務専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか											3	3		
	収支の改善	3: 指定管理業務と自主事業を区別して適切に管理しているか(自主事業がある場合)											3	3		
		4: 事業計画に基づき、適正に支出を行っているか											3	3		
		5: 収入増加又は経費縮減につながる具体的な取組を実施しているか											3	3		
		6: 収支の釣り合いが取れているか※											2	2		
【総括Ⅱ】	指定管理者の自己評価【必須項目】	平均点数	2.83	評価	C	5	0	4	0	3	5	2	1	1	0	指定管理に関わる経費は専用口座で管理し、会計帳簿は各事業に分け公益法人会計に則り適切に管理しています。人員配置を見直し昨年と比較するとマイナス幅を減少させることができました。引き続き魅力ある売店商品や貸館収入増を目指し、また経費削減に努めマイナス収支を改善していきます。
	所管課の評価【必須項目】	平均点数	2.83	評価	C	5	0	4	0	3	5	2	1	1	0	・新たに魅力のあるイベントを企画することで、利用者の拡大を行った。今後は、利用料や出店料を十分に検討し、収益の拡大も視野に入れてもらいたい。 ・売店は限られたスペースの中ではあるが、販売商品を工夫したことで、売り上げが増加している。 ・来場者も前年度から増加しており、収支も改善されてきており、今後に期待したい。

4 実施体制に関する評価

評価項目	評価基準											自己評価	所管課評価	
	5: 優良/協定等で定めた水準以上であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている 4: 良/協定等で定めた水準以上である 3: 標準/協定等で定めた水準である 2: やや劣る/概ね協定等で定めた水準であるが、一部水準を満たしていない部分がある 1: 劣る/協定等で定めた水準を満たしておらず、早急に改善が必要である ー: 施設の特性等により該当がないもの													
実施体制に関する評価	法令順守【必須】	1: 関係法令等を遵守しているか											3	3
	人員体制【必須項目】	2: 必要な人員(人数・有資格者等)を適切に配置しているか											3	3
		3: 必要な内容・頻度で教育・研修を実施しているか											3	3
		4: 業務の全部又は主たる業務を第三者に委託していないか											3	3
	外部委託【必須項目】	5: 事前に市の承認を受け、外部委託を実施しているか											3	3
		6: 業務日誌等を適切に作成・保管しているか											3	3
	報告等【必須項目】	7: 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか											3	3
		8: 期限内に必要な報告書類(事業計画書、業務報告書、事業報告書等)を市に提出しているか											3	3
		9: 市に対して必要な事項を適宜報告し、情報の共有を行っているか											3	3
		10: 市又は関係団体等との連絡調整を適切に行っているか											3	3
	トラブル、事件、事故、災害等緊急時【必須項目】	11: 災害等緊急時の対応計画・マニュアル、連絡体制を確立しているか											3	3
		12: 災害等緊急時に備えた職員の指導及び訓練を実施しているか											3	3
		13: 災害等緊急時に必要な設備及び備品の日常的な点検を実施しているか											3	3
		14: 災害等緊急時に備え、必要とされる保険に加入しているか											3	3
		15: 災害等緊急時が発生した際に、市と連携を図り、適切な対応を実施したか											3	3
	個人情報保護【必須項目】	16: 個人情報の保護に関する規定を整備しているか											3	3
		17: 個人情報取扱特記事項に従い、適切に個人情報を管理しているか											3	3

【任意項目】	その他 例: 関係団体等との継続的な連携強化の具体的な取組みを実施したか														
【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	
	指定管理者の自己評価	法令に従い、設備点検、訓練を行いました。担当課には必要な報告書類は期限を守り、修繕計画については速やかに報告して、協議しました。西山地域の団体や事業者と連携しながら、提案事業を実施し地域振興を図りました。4つの実行委員会については、事務局として各部会や実行委員会の開催を行い、イベントを実施しました。													
【必須項目】	平均点数	3.00	評価	B	5	0	4	0	3	17	2	0	1	0	
	所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> 実施体制について特に問題はない。 市や関係団体との連絡調整は適切に行われていることから、この体制を継続してほしい。 													

5 所管課による総括評価

評価基準	<p>S: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの)</p> <p>A: 全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。 (項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの)</p> <p>B: 全ての項目が協定等で定めた水準である。 (項目別評価全てが3点)</p> <p>C: 概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。 (項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの)</p> <p>D: 早急に改善が必要な事項がある。 (項目別評価の一つでも1点があるもの)</p>			
項目	総括Ⅰ (サービス)	総括Ⅱ (収支)	総括Ⅲ (実施体制)	合計
平均点数	3.11	2.83	3.00	8.94
評価	A	C	B	備考
内 訳				
項目数	19	6	17	
5点	0	0	0	
4点	2	0	0	
3点	17	5	17	
2点	0	1	0	
1点	0	0	0	
【特記事項】				
特に評価される点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中でも地域振興と利用者拡大のため、感染対策を十分に取り、市内で先行して飲食イベントを行った。集客意欲を感じ、利用者の拡大に繋がっており評価できる。 販売商品の工夫がみられ、売り上げが増加している。 			
改善が望まれる点 【必須項目】	<ul style="list-style-type: none"> 収支については、昨年度よりは改善されたが、引き続きマイナスとなっている。利用者数が増加していることから、出店料の徴収や魅力ある地元物産の販売など、収益の黒字化に向けて努めてほしい。 時代のニーズに合ったイベントを企画し、更なる利用者の拡大に努めてほしい。 西山地域の観光施設3館の連携による共同企画など、新たな取組による利用者数の増加を期待したい。 			